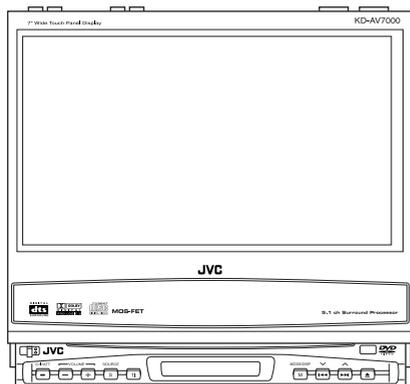
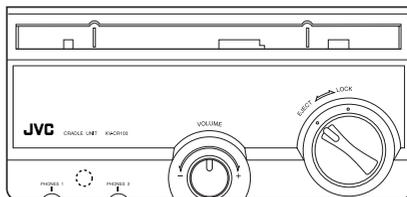


インダッシュ7型ワイドモニター / DVD/CDレシーバーシステム

型名 KD-PAV7000



KD-AV7000



KV-CR100



デモ表示について

本機にはデモ表示機能がついています。
30秒以上操作をしないしていると、自動でデモ表示が始まります。
解除するときは、タッチパネルの**FUNCTION**を押して操作アイコンを切替えたあと、**GRAP**を押して画像を切替えます。詳しくは**61**ページの「モニターの画像を変更する」をご覧ください。

— お買い上げありがとうございます —

 **ご使用前に**

この「取扱説明書」と別紙の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

	ページ	ページ	
● 安全上のご注意	3	● MP3ディスクの操作画面について	36
● 使用上のご注意	6	● 今見たシーンをもう一度見る	36
● ディスクの取扱いについて	7	● 画面を拡大する	37
● モニターの取扱いについて	7	● 字幕を切換える	37
● クレドルの取扱いについて	7	● 音声言語/音声を切換える	38
● 本体の各部の働き	8	● アングルを切換える	38
● リモコンの使いかた	10	● プレイリストを見ながら選ぶ	39
● リモコンの使いかた	10	● 文字情報を表示する	40
● 電池の入れかた	10	● 時間表示を切換える	40
● 各部の働き	11	● いろいろな再生モードを使用する	41
● 基本操作	13	● タイレクトに選曲する	42
● 本機の操作方法について	13	● 指定した時間から再生する	43
● ソース(音源)を切換える	16	● 2つのソース(音源)	
● 本体の表示窓について	16	● を操作する	44
● 時計を合わせる	17	● デュアルモードについて	44
● ラジオを聞く	18	● ソース(音源)を選択する	44
● ラジオの操作画面の見方	18	● リモコンでデュアルモードを操作する ...	45
● 放送局を選ぶ	19	● AV OUTPUT端子の音量を調節する ...	45
● 放送局を自動で記憶(メモリー)させる ...	20	● サラウンド/DSPモードを使う ...	46
● 放送局を選んで記憶(メモリー)させる ...	21	● サラウンドモードについて	46
● 放送局を呼び出す(プリセット選局)	21	● DSPモードについて	46
● 放送局リストから選局する	22	● サラウンド/DSPモードを使用する	46
● 放送局リストに記憶(メモリー)させる ...	22	● サラウンド/DSPモードの設定をする ...	47
● 道路交通情報を聞く	23	● iEQ*を使う	48
● FM放送が雑音で聞きにくいときは ...	23	● 選択可能なiEQパターン	48
● IFフィルターを切換える(FM放送のみ) ...	24	● iEQ/パターンを呼び出す	48
● アンテナリモートについて	24	● 調節したiEQを記憶(メモリー)させる ...	48
● ディスクの基礎知識	25	● その他の音声調節	49
● 本機で再生できるディスク	25	● ソース(音源)ごとの音量を調節する	49
● ディスクの構造	26	● スピーカーの出力バランスを調節する ...	49
● CD-R/CD-RWディスクについて	26	● モニターを調節する	50
● CDテキストについて	26	● モニターの映像を調節する	50
● MP3について	27	● 各種設定を変更する	51
● ディスクを再生する	29	● 各種設定画面での設定方法	51
● ディスクの操作画面の見方	29	● DVDの設定をする(DVDメニュー)	52
● ディスクを再生する	31	● モニターの設定を変更する(モニター) ...	53
● 再生中に表示されるマークについて	32	● 画面表示の設定を変更する	
● スピーカー/音声信号表示について ...	32	● (オンスクリーン)	54
● 早送り/早戻しをする(サーチ)	33	● 音声やスピーカーの設定を変更する	
● コマ送りをする	33	● (オーディオメニュー)	55
● スローモーション再生をする	33	● その他の各種設定をする(PSMモード) ...	57
● 画面サイズを変更する	34	● 放送局名/ディスク名	
● ディスクの盗難防止	34	● を登録する	58
● MP3ディスクのフォルダを選ぶ	34	● 名前を登録する	58
● メニューから再生する	35		

● モニターの表示を切替える 60	● TVチューナー(別売)を使う 72
・レベルメーターを切替える 60	・TVチューナーの操作画面の見方 72
・モニターの画像を変更する 61	・放送局を選ぶ 73
・タッチパネルの色を変更する 61	・音声を切替える 73
・モニターの画像について 61	・放送局を自動で記憶(メモリー)させる 74
● モニターの調節と取り外し 62	・放送局を選んで記憶(メモリー)させる 74
・モニターの位置を調節する 62	・放送局を呼び出す(プリセット選局) 75
・モニターの角度を調節する 62	・放送局リストから選局する 75
・モニターを取り外す 63	・放送局リストに記憶(メモリー)させる 76
● 後部座席でモニターを使用する ... 64	● ナビモニターを操作する 77
・モニターを取り付ける 64	・ナビモニターについて 77
・クレードルの各部の働き 64	・ソース(音源)を選択する 77
● CDチェンジャー(別売)の	● コントロールパネルの着脱 78
CDを聞く 65	・コントロールパネルを外す 78
・CDチェンジャーの操作画面の見方 ... 65	・コントロールパネルを取り付ける 78
・全曲演奏(全CDのくり返し演奏) 66	● 故障かな?と思う前に 79
・ディスク/フォルダ/トラックを選ぶ 67	・こんな表示が出たときは 82
・プレイリストを見ながら選ぶ 67	● 知っていると便利なこと 83
・文字情報を表示する 68	・言語コード一覧表 83
・いろいろな再生モードを使用する 69	● 保証とアフターサービス 84
・ダイレクトに選曲する 70	● 主な仕様 85
● 他の機器の映像を見る 71	● お手入れ 87
・外部機器を選ぶ 71	・ディスクのお手入れ 87
	・本体の清掃 87

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があります。想定される内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–



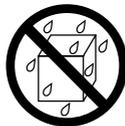
警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのバック飲料等を放置しない。



水ぬれ禁止

- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中にモニターなどの画面を見たり音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・ 通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・ 電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・ 間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・ 火災や感電・故障の原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。



- ・ 他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・ けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

電池をショートさせたり、分解や過熱をしたり、火や水の中に入れない。



- ・ 電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

モニターの立ち上げや格納、角度調節時に手や指をはさまれないよう注意する。



手をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



- ・ 感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

● 本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

● スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W、センタースピーカーは35W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω~8Ωのものをお使いください。

スピーカーの最大入力が50W以下のときは、「アンプゲイン」を「低出力」に設定してお使いください(⇒ 56ページ)。

● 安全運転のために…

・ 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。

・ ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

● 車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車したあとに、ディスクを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。(使用温度範囲:0℃~+40℃)

● タッチパネルと表示窓について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

● バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

● 必ず、パーキングブレーキコードを接続してお使いください。

交通安全のため、走行中は映像が表示されず、音声のみとなります。また停止状態でもサイドブレーキを引かないと、映像は表示されません。

● 結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してディスクが正常に演奏できないことがあります。

- ・ エアコン(暖房)を入れた直後
- ・ 湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1~2時間待ってからお使いください。

● 海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

● スピーカーコードの接続について

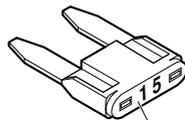
本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードのマイナス⊖側が車の金属部に接続されていたり、マイナス⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。

* BTL:Balanced Transformerlessの略
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

● ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



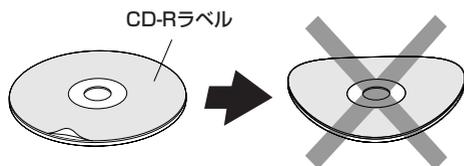
ヒューズ(15A)

● 携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中は交通安全のため携帯電話を使用しないでください。

ディスクの取扱いについて

- ディスクを保管するときは専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWの取扱いについて
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いので傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- 記録面に保護シールなどを張ったり、ラベル面にCD-Rラベルなどを張ったりしないでください。
そのまま使用すると、CDが反って音飛びしたり取り出せなくなったり、故障の原因となります。

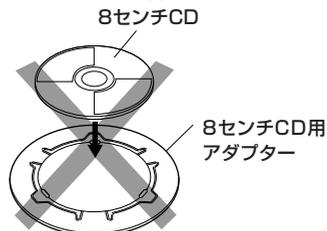


CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや演奏停止などを起こすことがあります。

- 次のようなディスクは使用しないでください。本体内部にディスクが張り付いて取り出せなくなったり、大切なディスクが反ったり傷がついたりすることがあります。
 - ・ 中古CDやレンタルCD/DVDビデオでシールなどのノリがはみだしたり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの
 - ・ またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの
 - ・ ラベル面に印刷できるインクジェットプリンター対応CD-R(印刷したもの)
 - ・ レンタルCD/DVDビデオでシールが張ってあるもの(特にめくれているもの)

※ CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上の注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。8センチCDは、そのまま挿入してください。



- CDを長時間使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

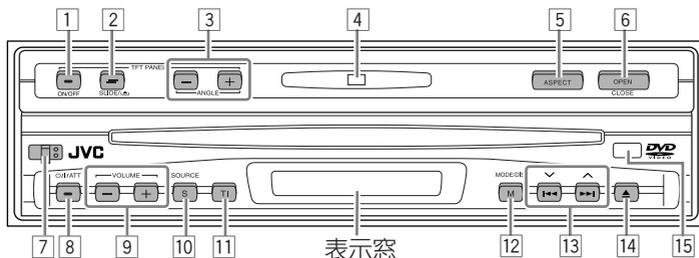
モニターの取扱いについて

- モニターに直射日光が当たらないようにしてください。
直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、モニターが故障する原因となります。
- モニターの画面に小さな点ができることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。
- モニターの角度調節や立ち上げ、格納を手動でおこなわないでください。
モニターに強い力が加わると故障する原因となります。
- 本体の前面や上部など、モニターの可動範囲にものを置かないでください。
- 本機を使用していないときには、本体にモニターを収納してください。

クレードルの取扱いについて

- クレードルの位置を調節する際、運転者の視界の邪魔にならないようにしてください。
- モニターをつないでいない状態で、EJECT/LOCKレバーを動かさないでください。
故障する原因となります。
- モニターをクレードルにつないだときは、必ずEJECT/LOCKレバーをLOCKに回して固定してください。

本体の各部の働き



● 基本操作

ボタンその他	番号	働き
	8	電源が「入/切」できます。 ・電源が「入」のときに押すと、音量が一時的に下がります。 ・電源が「入」のときに押し続けると、電源が「切」になります。
	10	ソース(音源)が切り替わります。 ・電源が「切」のときに押すと、電源が「入」になります。
	9	音量が調節できます。
	12	押し続けるとディスプレイの表示が切り替わります。
	11	ソース(音源)が道路交通情報に切り替わります。 ・もう一度押すと、もとのソース(音源)に戻ります。
	7	左にずらすとコントロールパネルが取り外せます(⇒78ページ)。
	15	リモコンの信号をここで受信します。
	4	周囲の明るさを感じ取ります(⇒50ページ)。

● モニター操作

ボタン	番号	働き
	1	モニターの電源が「入/切」できます。 ・電源が「入」のときに押し続けると、モニターの電源が「切」になります。
	6	モニターが立ち上がります。 ・立ち上がっているときに押すと、モニターが前に倒れます。 ・立ち上がっているときに押し続けると、モニターが格納されます。
	2	モニターが前後にスライドします。 ・押し続けるとモニターが取り外せます。
	3	モニターの角度が調節できます。 ・押し続けるとモニターの角度が最大(最小)にできます。
	5	映像ソース表示中のモニターの画面サイズが切り替わります*。 ・押し続けるとモニター調節画面が表示されます。 * 操作画面を表示中は、画面サイズの切換えはできません。

● ラジオの操作

ボタン	番号	働き
	10	押し続けるとバンドが切替わります。
	13	・オート選局が始まります。 ・押し続けるとマニュアル選局が始まります。
	12	FM放送の受信モードが切替わります。

● ディスクの操作

ボタン	番号	働き
	14	ディスクが取り出せます。
	13	チャプター(DVDビデオ)/トラックの頭出しができます。 ・押し続けると早送り/早戻しができます。
 ↓ (「FOLDER」表示中に) 	12、13	Mを押して表示窓に「FOLDER」が表示されているときに◀◀または▶▶を押すとフォルダの頭出しができます(MP3のみ)。

● CDチェンジャーの操作

ボタン	番号	働き
	13	トラックの頭出しができます。 ・押し続けると早送り/早戻しができます。
 ↓ 	12、13	・Mを押して表示窓に「DISC」が表示されているときに◀◀または▶▶を押すとディスクを切替えることができます。 ・Mを押して表示窓に「FOLDER」が表示されているときに◀◀または▶▶を押すとフォルダの頭出しができます(MP3のみ)。

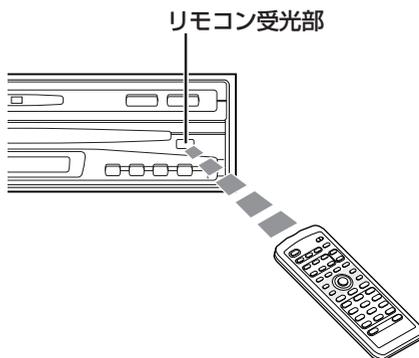
● TVチューナーの操作

ボタン	番号	働き
	13	・オート選局が始まります。 ・押し続けるとマニュアル選局が始まります。

リモコンの使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください(動作しないことがあります)。
- 付属の電池は動作確認用です。
早めに新しい電池(CR2025:市販品)と交換してください。

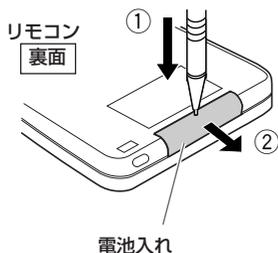


ご注意

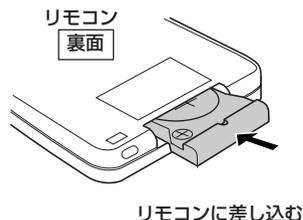
- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変型や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。



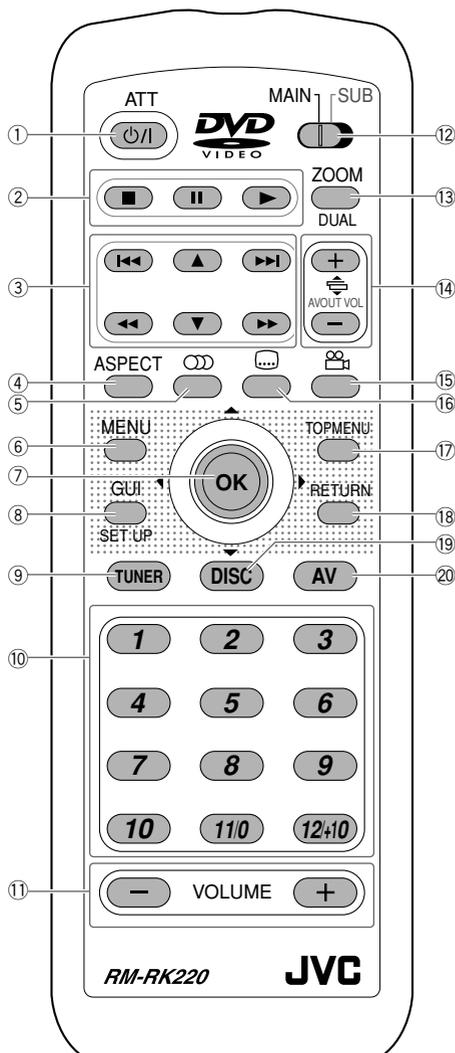
リチウム電池(CR2025)
・ ⊕側を上にする。



● 電池交換の目安は・・・

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。使用済みの電池は、絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

各部の働き



● 基本操作

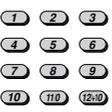
ボタン	番号	働き
ATT 	①	電源が「入/切」できます。 ・電源が「入」のときに押すと、音量が一時的に下がります。 ・電源が「入」のときに押し続けると、電源が「切」になります。
TUNER 	⑨	ソース(音源)が「TUNER(ラジオ)」になります。
DISC 	⑱	ソース(音源)が「DISC」または「CD-CH」になります。
AV 	⑳	ソース(音源)が外部機器(「TV」、「AV1」または「AV2」)になります。
	⑪	音量が調節できます。
MAIN/SUB 	⑫	デュアルモードが「入」のとき、「MAIN」と「SUB」の操作する側が選べます。
ZOOM DUAL 	⑬	押し続けるとデュアルモードが「入/切」できます。
	⑭	・モニターの角度が調節できます(「MAIN」が「MAIN」のとき)。 ・AV OUTの音量が調節できます(「MAIN」が「SUB」のとき)。
ASPECT 	④	映像ソース表示中のモニターの画面サイズが切替わりします*。 ・押し続けるとモニター調節画面が表示されます。 * 操作画面を表示中は、画面サイズの切換えはできません。
GUI SET UP 	⑧	GUI機能が「入/切」できます。 ・押し続けると各種設定画面が表示されます。
	⑦	・メニュー項目が選べます。 ・設定内容が決定できます。

リモコンの使いかた(つづき)

● ラジオの操作

ボタン	番号	働き
	⑨	ラジオのバンドが切り替わります。
	③	・オート選局が始まります。 ・押し続けるとマニュアル選局が始まります。
	③	プリセット番号が順に選べます。
	⑩	プリセット番号が直接選べます。

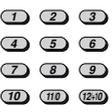
● ディスクの操作(つづき)

ボタン	番号	働き
	⑦	・メニュー項目が選ばれます。 ・設定内容が決定できます。
	⑱	ディスクのメニューを操作しているときに、前の画面に戻ります。
	⑩	・タイトル/チャプター(DVDビデオ)またはトラックの番号が選ばれます。

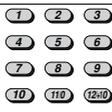
● ディスクの操作

ボタン	番号	働き
	②	再生します。
	②	一時停止します。
	②	再生を停止します。
	③	チャプター(DVDビデオ)/トラックの頭出しができます。 ・押し続けると早送り/早戻しができます。
	③	フォルダが選ばれます(MP3のみ)。
	⑦	
	⑦	トラックの頭出しができます(MP3のみ)。
	③	早送り/早戻しができます。
	⑬	画面が拡大できます。
	⑤	音声言語または音声が切り替わります。
	⑰	字幕言語が切り替わります。
	⑮	アングルが切り替わります。
	⑥ ⑰	ディスクのメニューが表示されます。

● CDチェンジャーの操作

ボタン	番号	働き
	③	フォルダが選ばれます(MP3のみ)。
	③	トラックの頭出しができます。 ・押し続けると早送り/早戻しができます。
	⑦	ディスクが切り替わります。
	⑩	ディスク番号が選ばれます。

● TVチューナーの操作

ボタン	番号	働き
	③	・オート選局が始まります。 ・押し続けるとマニュアル選局が始まります。
	③	プリセットされたチャンネルが順に選べます。
	⑩	プリセットされたチャンネルが直接選べます。
	⑤	二重音声の音声切り替わります。

基本操作

本機の操作方法について

本機は3通りの方法で操作することができます。本取扱説明書では、主にタッチパネルを使用する操作方法を説明します。

■ タッチパネルで操作する

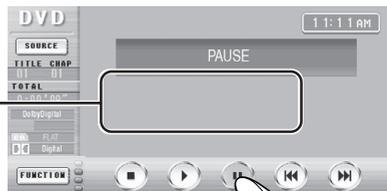
モニターに表示された操作アイコンに触れて、本機を操作します。

例：DVDビデオを再生するとき



先のとがったものでモニターに触れないでください。また、手袋などをしたままでは操作できません。

例：DVDビデオを一時停止するとき



操作アイコンとソース（音源）の情報画面は、DVD、TVなどの映像ソースのとき消すことができます。モニターの中央（□の部分）に触れることで、操作アイコンとソース（音源）の情報画面を「入/切」できます。

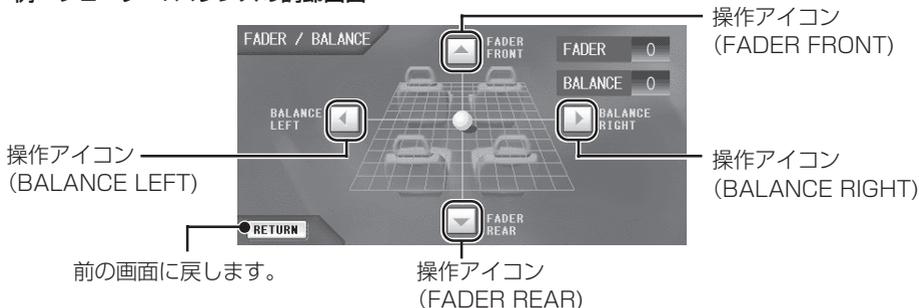
・映像ソースの場合は、何も操作をしないで30秒以上経つと自動的に消えます。

タッチパネルの見方

例：DVDビデオを再生中



例：フェーダー/バランスの調節画面



基本操作(つづき)

本機の方法について(つづき)

■ リモコンのGUI(グラフィカルユーザーインターフェース)機能を使って操作する

GUI機能を使用すると、タッチパネル上の操作をリモコンから行うことができます。

1 GUI SET UP を押す

モニター上にカーソル(黄色の枠)が表示されます。



2 OK を使ってカーソルを動かす、操作アイコンを選ぶ



3 OK を押して決定する

- GUI機能を「切」にするにはもう一度GUIボタンを押します。カーソルが消えます。
- ・ 映像ソースで映像が表示されている場合は、同時に操作画面も消えます。

■ 本体またはリモコンのボタンを使って操作する

操作アイコンと同じマークや名前のボタンを使って、リモコンまたは本体から同じ操作を行うことができます。

例：ディスクを再生する

 を押す → リモコンの  でも同じ操作をすることができます。

本体またはリモコンのボタンでのみ行う操作は、次のように説明します。

例：ディスクの取り出し(本体のみ)

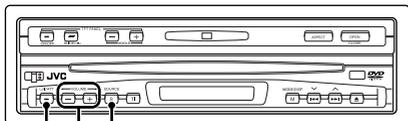
 を押す

例：ズーム(リモコンのみ)

ZOOM DUAL  を押す

準備

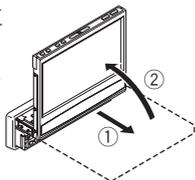
- 車のエンジンをかける。本機はエンジンキーが「OFF」の状態では電源を入れることができません。
- 車両に接続したあと、最初に使用するときは必ず本機のリセット(→ 79ページ)をおこなってください。



1 3 2

1 電源を入れる

表示窓に「WAITING」と表示されたあと、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時は「FM1」…が表示されます。モニターが自動的に立ち上がり、タッチパネルの操作ができるようになります。



- ・「自動開閉」の設定を「オフ」にしている場合は、モニターは自動的に立ち上がりません(→ 53ページ)。
- ・**S**を押しても、電源を「入」にできません。
- ・モニターの可動範囲にはものを置かないようにしてください(→ 86ページ)。

2 ソース(音源)を選ぶ

押すごとに、ソース(音源)が切替わります。



- *1 本機にディスクが入っているときに選べます。
- *2 本機にTVチューナーが接続されているときに選べます。
- *3 本機にCDチェンジャーが接続されているときに選べます。

3 音量を調節する

- ・ + を押すと音量が大きくなります。

調節範囲: VOL 0~VOL 50
(初期設定 VOL 15)

- ・ 「アンプゲイン」で「低出力」を選んでいるときは、音量の最大値は30になります(→ 56ページ)。

● 電源を「切」にする

電源/ATT



- ・ **電源**を2秒以上押します。電源が「切」になります。

● モニターの角度を変える



ANGLE

- ・ **ANGLE**を押します(→ 62ページ)。

● 音量を一時的に下げる

電源/ATT



- ・ **電源**を「ポン」と押します。

表示窓に「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

● モニターを格納する

OPEN

CLOSE

- ・ **OPEN**を2秒以上押します。

車のエンジンキーが「OFF」でも操作できます。

● 車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作ができます。



- ・ **DISC** : ▲(ディスク取出し)ボタン
ディスクの出し入れ



- ・ **SLIDE** : SLIDE/▲ボタン
押し続けるとモニターの取り外し

MODE/DISP



- ・ **MODE/DISP** : MODE/DISPボタン
時刻表示

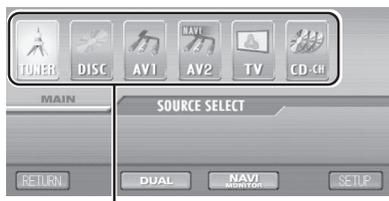
ただし、電源を「入」にすることはできません。

基本操作(つづき)

ソース(音源)を切替える

1 SOURCE を押す

ソース(音源)選択画面が表示されます。



現在のソース(音源)のアイコンがハイライト表示されます。

- RETURN** : 元の画面に戻ります。
- DUAL** : デュアルモードを「入/切」します(⇒ 44ページ)。
- NAVI MONITOR** : ナビ表示モードになります(⇒ 77ページ)。
 - ・「AV2入力選択」で「ナビ」を選んだときのみ表示されます(⇒ 57ページ)。
- SETUP** : 各種設定画面が表示されます(⇒ 51ページ)。

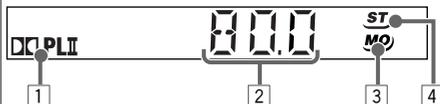
2 ソース(音源)のアイコンを選ぶ

ソース(音源)が切替わり、選んだソース(音源)の操作画面が表示されます。

本体の表示窓について

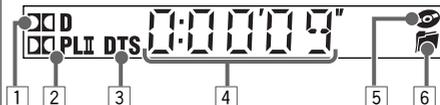
本体の表示窓には、次のような情報が表示されます。

・ソース(音源)が「TUNER(ラジオ)」のとき



- 1 ドルビープロロジックIIモードが「入」のときに点灯します。
- 2 バンド/周波数/プリセット番号が表示されます。
- 3 FM放送の受信モードを「MONO」にすると点灯します。
- 4 FMステレオ放送を受信すると点灯します。

・ディスクの再生中



- 1 ドルビーデジタル信号を検出すると点灯します。
- 2 ドルビープロロジックIIモードが「入」のときに点灯します。
- 3 DTS信号を検出すると点灯します。
- 4 演奏時間/タイトル番号/チャプター番号/フォルダ番号/トラック番号が表示されます。
- 5 ディスクが入っていると点灯します。
- 6 MP3ディスクを認識すると点灯します。

・**イルミネーションコントロール**コードを車両のイルミ電源に接続してある場合、本体の表示窓とボタンの明るさが車両のライトの「入/切」に応じて変わります(オートディマー)。

詳しくは別冊の「取付説明書」をご覧ください。

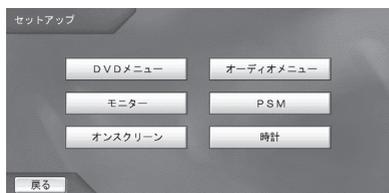
時計を合わせる

1 **FUNCTION** をくり返し押して **SETUP** アイコンを表示させる

- ・アイコンが表示されていない場合は、モニターの中央に触れてアイコンを表示させてください。

2 **SETUP** を押す

各種設定画面が表示されます。



3 **時計** を押す

時刻設定画面が表示されます。



4 **▲** または **▼** を押して 時刻を合わせる

- ・ **00s** を押すと、00秒ちょうどに時計を合わせることができます。

5 **12時間** または **24時間** を押して 表示タイプを選ぶ

6 **戻る** を押す

元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

本体の表示窓に時刻を表示させる



電源が「切」のとき

MODE/DISP

M を押します。

表示窓に時刻が5秒間表示されます。

電源が「入」のとき

MODE/DISP

M を1秒以上押します

押すごとに、表示窓の表示が次のように切り換わります。

TUNER(ラジオ):

周波数→時刻→バンド/プリセット番号→……

DISC:

演奏時間→時刻→タイトル/チャプター/
フォルダ/トラック番号→……

AV1/AV2:

ソース(音源)→時刻→……

TV:

チャンネル→時刻→ソース(音源)/プリ
セット番号→……

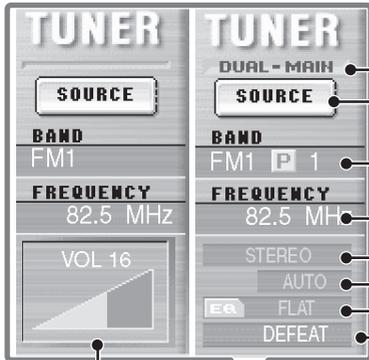
CD-CH(CDチェンジャー):

演奏時間→時刻→ディスク番号→
フォルダ/トラック番号→……

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順**1**～**5**の操作をします。
- **SETUP** を使ってその他の設定を変更したいときは、**51**～**57**ページをご覧ください。

ラジオを聞く

ラジオの操作画面の見方



デュアルモード表示 (⇒ 44ページ)
 ソース(音源)選択アイコン

受信中のバンド/プリセット番号(⇒ 19ページ)

周波数

FM放送の受信モード(⇒ 23ページ)

選局方法(⇒ 19ページ)

サウンドモード(⇒ 48ページ)

サラウンド/DSPモード(⇒ 46ページ)

音量を調節中に表示
 されます。



FUNCTION を押すごとに、
 操作アイコンが切かわ
 ります。

(FM放送のみ)



⇒ 58ページ

⇒ 61ページ

⇒ 61ページ

⇒ 60ページ

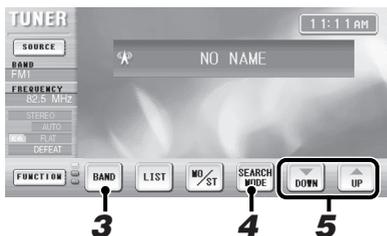
⇒ 45~49ページ

⇒ 51ページ

(元に戻る)

* 「M」を押したあとにだけ選択
 できます(FM放送のみ)。

放送局を選ぶ



1 SOURCE を押す

ソース(音源)選択画面が表示されます。

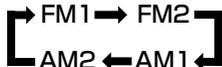


2 TUNER を押す

ソース(音源)が「TUNER(ラジオ)」に切り換わります。

3 BAND をくり返し押し押してバンドを選ぶ

押すごとにバンドが切り換わります。



4 SEARCH MODE をくり返し押し押して選局方法を選ぶ

押すごとに選局方法が切り換わります。



- AUTO : オート選局(シーク)
- MANUAL : マニュアル選局
- PRESET : プリセット選局

5 UP または DOWN を押して選局する

UP : 周波数(プリセット番号)が上がります。 P1→P2→P6

DOWN : 周波数(プリセット番号)が下がります。 P6→P5→P1

- AUTO : オート選局(シーク)
本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- MANUAL : マニュアル選局
押すごとに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。
- PRESET : プリセット選局
あらかじめ記憶させておいた放送局(→ 20ページ)から選局できます。

〈お知らせ〉

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。そのときは、もう一度 UP または DOWN を押してください。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作を5秒以上行わないでいると、自動的に解除されません。
- AM放送はモノラル受信です。

ラジオを聞く(つづき)

放送局を自動で記憶(メモリー)させる

電波の強いFM放送の放送局を自動選局し記憶させることができます(SSM…ストロングステーションメモリー機能)。

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドに記憶してあった放送局は取り消されます。



1 放送受信中に **BAND** をくり返し押し押ししてFM1またはFM2を選ぶ

FM1またはFM2にそれぞれ6つまで放送局を記憶させることができます。

例:FM1のとき



2 **FUNCTION** をくり返し押し押しして操作アイコンを切替える



3 **M** を押したあと、**SSM** を押す

自動選局が始まり、周波数の低い順に最大6つまでのFM放送局を数字アイコン(P1~P6)に記憶していきます。

- メモリーし終わるとプリセット番号1に記憶された放送局が表示されます。

〈お知らせ〉

- 放送局が6局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- AM放送のときは、SSM機能は働きません。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます(⇒ 21ページ)。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また時計表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

放送局を選んで記憶(メモリー)させる

SSM機能を使って自動で記憶するほかに、放送局を選んでから1局ずつ手で記憶させることができます。

- この操作は、SSM機能で放送局を記憶させたあとにしてください。あとからSSM機能を利用すると、記憶させた内容が取り消されることがあります。

例: FM放送の80.0 MHzをプリセット番号1(P1)に記憶する



1

UP または DOWN を押して
FM80.0 MHzを選局する

「放送局を選ぶ」(⇒ 19ページ)をご覧ください。

2

FUNCTION をくり返し押して操
作アイコンを切替える

3

SSM を押したあと、P1 を押す

「PRESET 1」と放送局が表示され、放送局が記憶されます。



放送局を呼び出す(プリセット選局)

プリセット番号1~6に記憶されている放送局をワンタッチで選局することができます。



1a

FUNCTION をくり返し押して操
作アイコンを切替える

2a

P1 ~ P6 を押して選局する



1b

SEARCH MODE をくり返し押して
「PRESET」を選ぶ

2b

UP または DOWN を押して選
局する

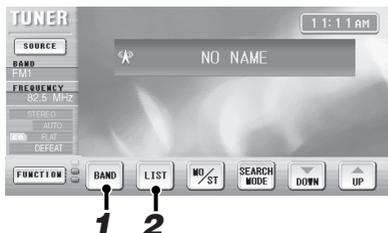
UP : プリセット番号が大きくなります。

DOWN : プリセット番号が小さくなります。

ラジオを聞く(つづき)

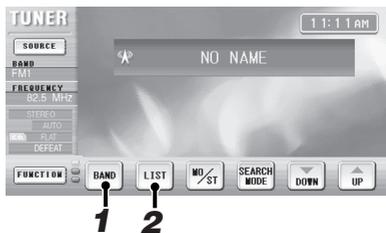
放送局リストから選局する

プリセットした放送局を一覧表示してから選局することができます。



放送局リストに記憶(メモリー)させる

受信中の放送局を放送局リストに記憶させることができます。



1 **BAND** をくり返し押ししてバンドを選ぶ

2 **LIST** を押す

選んだバンド(例は「FM1」)の放送局リストが表示されます。



元の画面に戻すときに押します

放送局リスト

- 放送局名を登録している場合(⇒ 58ページ)は、周波数の横に放送局名が表示されます。

3 リスト上のプリセット番号を押して放送局を選ぶ

1 記憶させたい放送局を選局する

「放送局を選ぶ」(⇒ 19ページ)をご覧ください。

2 **LIST** を押す

選んだバンド(例は「FM1」)の放送局リストが表示されます。



元の画面に戻すときに押します

放送局リスト

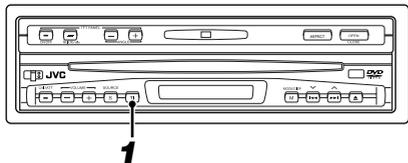
- 放送局名を登録している場合(⇒ 58ページ)は、周波数の横に放送局名が表示されます。

3 **M** を押したあと、記憶させたいプリセット番号を押す

選んだプリセット番号に受信中の放送局が記憶されます。

道路交通情報を聞く

高速道路などの特定地域では、AM1620kHzで道路交通情報を聞くことができます。



1 **TI**を押す

聞きたいところでボタンを押すと、ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信できます。

AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは:

を押します。もう一度押すとAM1620kHzに戻ります。

元のソース(音源)に戻すときは:

もう一度 **TI** を押します。

〈お知らせ〉

- AM1620kHzまたはAM1629kHzに放送局名が入力されているとき(⇒ 58ページ)は、TIボタンを押して道路交通情報を聞いている状態では、入力した放送局名は表示されません。
- TIボタンを押して道路交通情報を聞いているときは、他のソース(音源)とは独立して音量調節ができます。もう一度TIボタンを押して元のソース(音源)に戻すと、音量も元に戻ります。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送のモードを切替えます。



1 FM放送受信中に **MO/ST** を押す

〈本体で操作する〉

MODE/DISP **M** を押す

押すごとに「MONO」と「STEREO」が交互に切り替わります。



受信モード

- モノ
- MONO** : FM放送はモノラル受信となり雑音が少なくなります。
- ステレオ
- STEREO** : FM放送はステレオ受信になります。

ラジオを聞く(つづき)

IFフィルターを切替える(FM放送のみ)

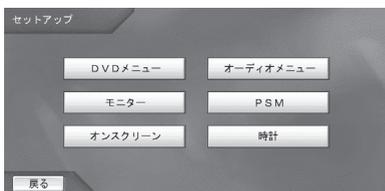
本機のチューナーは、電波の強さや隣接妨害波などの影響を軽減するために自動でIFフィルターを切替えています。

1 **FUNCTION** をくり返し押して 操作アイコンを切替える



2 **SETUP** を押す

各種設定画面が表示されます。



3 **PSM** を押す

PSM画面が表示されます。



- ・ 現在選ばれている設定が青く点灯します。

4 **オート** または **ワイド** を押して 設定を変更する

オート : 隣接妨害波の有無によって、自動でIFフィルターの帯域幅を切替えます。

ワイド : 広い帯域幅のIFフィルターに固定します。

アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**アンテナコントロール電源**コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を「TUNER(ラジオ)」にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。「CD-CH」や「DISC」などにソース(音源)を切替えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(**アンテナコントロール電源**コードの最大コントロール電流は250mAです。)

ディスクの基礎知識

本機で再生できるディスク

本機で再生できるディスクは以下のとおりです。

再生できるディスク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ 	音声+映像	12センチ 8センチ
ビデオCD  Video CD	音声+映像	12センチ 8センチ
オーディオCD  	音声	12センチ 8センチ

DVDビデオフォーマットで記録したDVD-RおよびDVD-RWも再生できます。また、音楽用のCDフォーマットやMP3フォーマットで記録したCD-RおよびCD-RWディスクも再生できます。

ただし、ディスクの特性や記録状態によっては、再生できないこともあります。

● 再生できないディスク

- ・ DVDオーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、VRフォーマットで記録されたDVD-R/RW、(MP3を除く)CD-ROM、フォトCD、CD-I、SACD

これらのディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。CDグラフィックス、CDエキストラの場合、音声のみ再生できます。

<お知らせ>

- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- 本機は、マクロピジョン方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号の入っているディスクはVTRで録画できません。

● リージョン番号(ローカル番号)について

DVDビデオにはリージョン番号と呼ばれる、再生可能地域番号がついています。この番号がDVDプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。本機のリージョン番号は「2」ですので、DVDのディスク上に「2」という番号が含まれているディスクに限り再生することができます。

本機で再生できるディスクの表示例:



● テレビ方式について

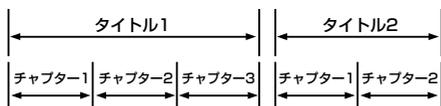
本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式エヌティースシーに適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式パル(PALなど)のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。

ディスクの基礎知識(つづき)

ディスクの構造

■ DVDビデオ

多くのDVDビデオは、「タイトル」と呼ばれるいくつかの大きな項目から構成されています。また、タイトルはさらに「**CHAPTER(章)**」という小さな項目に分割されています。タイトルとCHAPTERにはそれぞれ番号(タイトル番号、CHAPTER番号)が付けられていて、それらを選んで再生を始めることができます。ただし、ディスクによってはタイトルやCHAPTERに分割されていないものもあります。



■ ビデオCD/オーディオCD

ビデオCDやオーディオCDは、「**トラック**」と呼ばれる項目から構成されていて、それぞれのトラックには番号(トラック番号)が付けられています。たとえば2曲目は、「**トラック2**」となります。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。また、「**インデックス**」と呼ばれる頭出しマークが記録されているディスクもあります(本機はインデックス・マークの頭出し機能には対応していません)。



■ MP3ディスク

MP3ディスクには、それぞれの曲が「**ファイル**」として記録されています。また、複数のファイルをジャンル別、アーティスト別などの「**フォルダ**」にまとめて分類できます。さらに「**フォルダの中にフォルダ**」を作ることによりフォルダ/ファイルの階層構造をつくることができます。この階層は、パソコンにおけるフォルダ/ファイルの階層と同じです。



CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクおよびMP3ファイルで記録されているディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏が始まるまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏が始まるまでに時間がかかることがあります。
- 本機は半角の英数字(1バイト)に限り対応しております。日本語などの全角文字(2バイト)は表示できません。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機では正しく表示されないことがあります。

CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「**CDテキスト**」データを表示します。

MP3について

MP3とは

MP3(MPEG1 Audio Layer 3の略)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元の音楽データを約10分の1に圧縮できます。

- MP3i(interactive)、MP3PROには対応していません。
- m3u形式のプレイリストには対応していません。

●再生できるメディア

本機はMP3形式のCD-ROMまたはお客様が編集されたCD-R(レコーダブル)、CD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。また、80分(容量700MB)ディスクに対応しています。

ディスクはISO9660レベル1およびレベル2、Romeo、Jolietフォーマットのディスクが再生可能です。本機ではマルチセッション対応で記録したディスクも再生できます。必ずセッションクローズ処理をしてください。

タグ

●ID3 Tagについて

ID3 Tagのバージョン1.0と1.1(アルバム名、アーティスト名およびトラックタイトル)を表示することができます。文字種は半角の英数字です。なお、ID3 Tagのバージョン2には対応しておりません。

●ファイル名とフォルダ名の入力

表示できる文字種は、半角英数字と半角英字記号です。(半角カナ、ひらがな、漢字および全角の英数字が含まれていると、FOLDER 01またはTRACK 01.mp3などと表示されます。ただし、Joliet形式の場合FOLDER 01またはTRACK 01.mp3などと表示されないことがあります)。また、MP3ファイルと認識されて再生できるファイルは、MP3の拡張子*(.MP3)がついたものだけです。

〈お知らせ〉

- 拡張子(.MP3)は、必ず半角で入力してください。全角で入力すると、MP3ファイルとして認識されません。

- 使用できるディスクのフォーマット
本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名につけられる最大文字数(区切り文字「.」と拡張子MP3を含む)でISO9660では1バイト文字を使用したときの文字数です。

- ISO9660レベル1 : 12文字
- ISO9660レベル2 : 31文字
- Romeo : 128文字
- Joliet : 64文字
- Windows拡張 : 128文字

ただし本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大フォルダ数:99
- 最大フォルダ階層:10
- 1フォルダ内の最大ファイル数:150

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは、正常に再生できなかつたりファイル名/フォルダ名が正しく表示されないことがあります。

またライティングソフトによってフォーマットの設定方法が異なることがあります。このようなときは、ライティングソフトのフォーマット設定をもう一度確認のうえ、その取扱説明書に従って正しく設定し直してください。

●圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は「128kbpsの固定」を推奨します。また最大容量まで記録するときは、追記禁止の設定をしてください。何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録するときは「Disc at Once」の設定をしてください。

* 拡張子とは

ファイルの種類や記録形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。

ディスクの基礎知識(つづき)

MP3について(つづき)

● 次のようなディスクおよびMP3ファイルは再生できません

- ・ ファイル名に拡張子(.MP3)が付いていない。
- ・ CD-R/RWへの記録方式がパケットライト方式である。
- ・ ファイルの拡張子が(.MP3)でない。
- ・ ファイルの拡張子(.MP3)が半角ではない。
- ・ ファイルデータがMP3データ方式ではない。
- ・ 拡張子は(.MP3)だがLayer 1/2でエンコードされている。
- ・ 各セッションをセッションクローズ処理していない(クローズ処理されていないセッションは認識されません)。
- ・ WMAファイル、WAVEファイル、ATrac3及びMPEG2.5などのファイル。

● 用語解説

- ・ CD-DA …………… 音楽用CDデータのことです。
- ・ Mixed CD …………… データトラックの後にオーディオトラック(音楽CDデータ)を追加してからクローズセッションしたCD。
- ・ Enhanced CD …… オーディオトラック(音楽CDデータ)の後にデータトラックを追加してからクローズセッションしたCD。
- ・ マルチセッション … 複数のセッションで記録する方式のことで、データの追記が可能です。

● MP3対応表

マルチセッション			○	
Mixed-CD	MP3+CD-DA		CD-DAの再生	
	その他のファイル+CD-DA		トラック1は無音になります。トラック2より通常の再生になります	
Enhanced CD	CD-DA+MP3		CD-DAの再生	
ファイルシステム	ISS09660レベル1		○ 12文字(8.3形式)*	
	ISS09660レベル2		○ 31文字*	
	ISS09660レベル3		×	
	Romeo		○ 128文字*	
	Joliet		○ 64文字*	
	Windows拡張		○ 128文字*	
MP3	対応ビットレート		8kbps~320kbps	
	VBR(可変ビットレート)		○	
	対応サンプリング周波数	MPEG-1		48kHz、44.1kHz、32kHz
		MPEG-2		24kHz、22.05kHz、16kHz
	ジョイントstereo		○	
	エンファシス		×	
ID3-Tag		Ver 1.0、1.1に対応		
m3uプレイリスト			×	
マニュアルサーチ			○ (サーチ速度は一定ではありません)	
最大フォルダ階層			10階層	
最大ファイル/フォルダ数	1フォルダ当たり		150ファイル	
	フォルダ数		99	
最大表示文字数(フォルダ/ファイル名)			各64文字*	
80分(容量700MB)ディスク対応			○	
再生順序			パステーブル順	
表示可能文字コード	記号		英記号(半角)	
	英字・数字		英大文字、英小文字、数字(半角)	

* ファイルシステムの文字数には区切り文字“.”と拡張子(MP3)の合計4文字を含んでいます。また、本機の最大表示文字数は64文字です。

ディスクを再生する

ディスクの操作画面の見方

■ 映像を見るとき

VCD
SOURCE
TRACK 01 **PBC**
TIME 00'09"
STEREO
EA **FLAT**
PLII MUSIC

DVD
DUAL-MAIN
SOURCE
TITLE CHAP 01 01
TOTAL 0:00'09"
DolbyDigital
EA **FLAT**
Digital

- デュアルモード表示 (⇒ 44ページ)
- ソース(音源)選択アイコン
- PBC表示(ビデオCDのみ) (⇒ 35ページ)
- 現在のタイトル/チャプター番号(DVDビデオ)
- 現在のトラック番号(ビデオCD)
- 演奏時間(⇒ 40ページ)
- 検出した音声信号の種類(⇒ 46ページ)
- 再生モード(⇒ 41ページ)
- サウンドモード(⇒ 48ページ)
- サラウンド/DSPモード(⇒ 46ページ)

ディスクの音声信号を検出すると、一時的に表示されます。(⇒ 32ページ)

再生中の映像が表示されます。

ディスクの操作アイコン(⇒ 31ページ)

FUNCTION を押しごとに、操作アイコンが切り替わります。

DVDビデオ

ビデオCD

DVDビデオ: **FUNCTION**, **TIME DISP**, **RPT**, **CHAP SEARCH**, **TIME SEARCH**, **TOP MENU**, **MENU**

ビデオCD: **FUNCTION**, **PBC CTRL**, **PBC**

再生中: **FUNCTION**, **TIME DISP**, **RPT**, **CHAP SEARCH**, **TIME SEARCH**

停止中: **FUNCTION**, **TIME DISP**, **RPT**, **RND**, **INT**, **TRACK SEARCH**, **TIME SEARCH**

→ 51ページ (SETUP)
 → 45~49ページ (SOUND)
 → 60ページ (DISP)
 → 61ページ (GRAP)
 → 61ページ (PANEL)

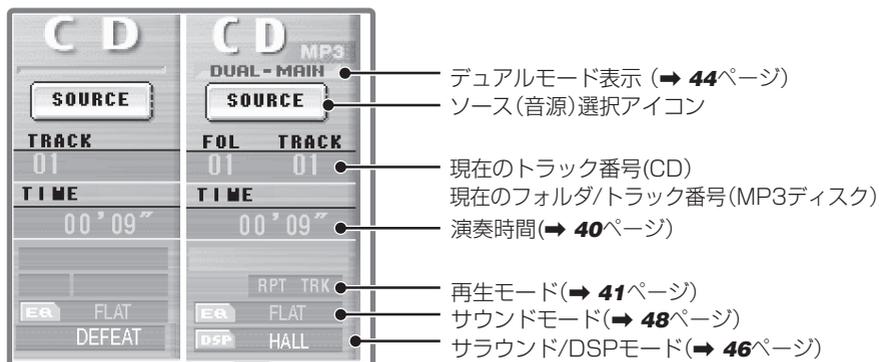
- *1 再生中のみ使用できます。
- *2 PBCがオンのときは使用できません。
- *3 PBCがオンのときは、停止時のみ使用できます。

(元に戻る)

ディスクを再生する(つづき)

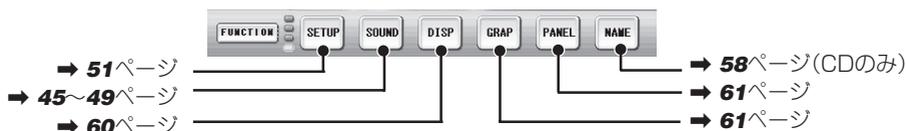
ディスクの操作画面の見方(つづき)

■ 音楽を聞くととき



CD/CDテキスト

MP3ディスク

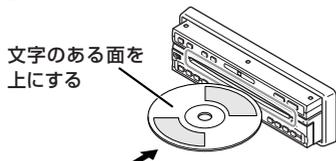


* 再生中のみ使用できます。

(元に戻る)

ディスクを再生する

1 ディスクを入れる



途中まで入れると、自動で引き込まれます。

- 電源が入り、ソース(音源)が「DISC」になり再生が始まります。
- ディスクの種類によっては、読み取りに時間がかかることもあります。

2 モニターが格納されている場合は、を押してモニターを準備する

モニターが立ち上がり、操作画面が表示されます。

例：DVDビデオを再生しているとき



- ディスクによっては、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。メニュー画面での操作については35ページをご覧ください。

例：MP3ディスクを再生しているとき



- ▶(再生)ボタンを押すと、MP3ディスクの場合は現在のトラックの頭から再生されます。

3 音量を調節する



音量を調節すると表示されます

● 操作アイコンでのディスクの操作

タッチパネルの操作アイコンでは、つぎの操作ができます。

 FOLDER : フォルダを選択する(MP3ディスクのみ)。

 : 再生を停止する。*

 : 再生を開始する。

 : 再生を一時停止する。再生を再開するには▶(再生)ボタンを押します。

 : 再生中のチャプター/トラックの頭に移動します。押すごとに前のチャプター/トラックの頭に移動します。

 : 押すごとに次のチャプター/トラックの頭に移動します。

- * MP3ディスクを除くディスクの場合、停止した位置が記憶されます。▶(再生)ボタンを押すと、停止した位置から続きが再生されます(リジューム再生)。MP3ディスクの場合は、停止したトラックの頭から再生が始まります。

● ディスクを取り出す

 を押すと、ディスクが出てきます。

ディスクを入れる前のソース(音源)に戻ります。

- ディスクを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます。

本取扱説明書では、機能ごとに次のマークを示し、どの種類のディスクで操作ができるのかをお知らせしています。



• DVDビデオ



• ビデオCD



• CD



• MP3ディスク



• 再生可能なディスク全て

ディスクを再生する(つづき)

●ディスクを再生する前に

- DVDビデオの音声や字幕などは、「DVDメニュー」であらかじめ設定しておくことができます。設定を変更したいときは、**52**ページをご覧ください。
- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。
本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。このようなときは、モニターに「」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。
- Mixed-CDで記録されている場合、1曲目が「00' 00"」表示のまままで再生しません。数字ボタンなどで2曲目以降にスキップすると再生します。

再生中に表示されるマークについて

ディスクを再生していると、次のようなマークがモニターに一時的に表示されることがあります。

- ⊘ : 本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。このマークが表示されなくても、状況によっては操作ができないことがあります。

「ガイド(⇒ **54**ページ)」を「オン」に設定していると以下のようなオンスクリーンガイドが表示されます。

 : 再生を開始すると表示されます。

 : 一時停止すると表示されます。

 または  : 早送り/早戻しをすると表示されます。

 または  : スローモーション再生をすると表示されます。

 : 複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます(⇒ **37**ページ)。

 : 複数の音声言語が収録されている場面で表示されます(⇒ **38**ページ)。

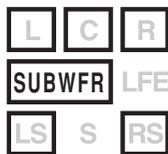
 : 複数のアングルが収録されている場面で表示されます(⇒ **38**ページ)。

スピーカー/音声信号表示について

以下のような場合に、スピーカー/音声信号表示が一時的に表示されます。

- 新たな音声信号を検出したとき。
- ディスクを一時停止後、再生を再開したとき。

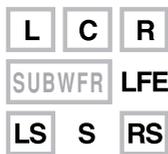
スピーカー表示



スピーカー表示

- 「スピーカーサイズ(⇒ **56**ページ)」で「大」または「小」に設定されているスピーカーの枠が黄緑色に点灯します。
- 「サブウーハー」を「はい」に設定していると、SUBWFR表示が点灯します。

音声信号表示



音声信号表示

音声信号を検出すると、対応した信号表示の文字が黄色に点灯します。

L : 左フロントチャンネル

R : 右フロントチャンネル

C : センターチャンネル

LS : 左サラウンドチャンネル

RS : 右サラウンドチャンネル

S : モノラルサウンド

LFE : LFE(Low Frequency Effect: 低域効果音)チャンネル

早送り/早戻しをする(サーチ)

再生する速度を変えて、見たい場面や聞きたいフレーズに素早く移動できます。

1 再生中に または を押し続ける

再生速度が $x2 \rightarrow x10$ と変化します。
 ・押し続けるのを止めると、通常の再生に戻ります。

リモコンのみ

1 再生中に または を押す

押すごとに再生速度が次のように変化します。

$x2 \rightarrow x5 \rightarrow x10 \rightarrow x20 \rightarrow x60^*$

*「x60」はDVDビデオを再生しているときのみ選べます。

- 通常の再生に戻す
 ▶ (再生) ボタンを押します。

<お知らせ>

- 「ガイド(⇒ 54ページ)」をオンにしているか、操作画面を表示しているときは、再生速度がモニターに表示されません。
- MP3ディスクでの早送り/早戻し中は、音声は再生されません。
- 「x5」以上の早送り中のときは、DVDビデオとビデオCDの音声は再生されません。また、再生速度に関係なく、早戻し中はDVDビデオとビデオCDの音声は再生されません。
- ディスクの頭まで戻ると、早戻しは自動的に解除されます。

コマ送りをする

静止画をコマ送りで再生することができます。

1 一時停止中に をくり返し押す

押すごとに、画像が1コマずつ再生できます。

- 通常の再生に戻す
 ▶ (再生) ボタンを押します。

スローモーション再生をする

再生する速度を変えて、スローモーションで再生することができます。

1 一時停止中に または を押し続ける

再生速度が $1/32 \rightarrow 1/8$ と変化します。
 ・押し続けるのを止めると、通常の再生に戻ります。

リモコンのみ

1 一時停止中に または を押す

押すごとに再生速度が次のように変化します。

$1/32 \rightarrow 1/16 \rightarrow 1/8 \rightarrow 1/4 \rightarrow 1/2$

- 通常の再生に戻す
 ▶ (再生) ボタンを押します。

<お知らせ>

- 「ガイド(⇒ 54ページ)」をオンにしているか、操作画面を表示しているときは、再生速度がモニターに表示されません。
- スローモーション再生中は、音声は再生されません。
- ビデオCDは逆方向のスローモーション再生はできません。

ディスクを再生する(つづき)

画面サイズを変更する

再生する映像のサイズを5通りから選ぶことができます。



本体 / リモコンのみ

<本体で操作する>

ASPECT をくり返し押します。

<リモコンで操作する>

ASPECT

をくり返し押します。

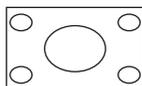
押すごとに画面サイズが次のように切替わります。



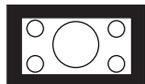
- 映像ソースの画面サイズが16:9のとき
- 映像ソースの画面サイズが4:3のとき



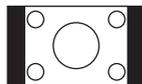
FULL



FULL



NORMAL



NORMAL



WIDE



WIDE



ZOOM



ZOOM



CINEMA



CINEMA

- 操作画面を表示中は、画面サイズは「FULL」となり、変更することはできません。
- 本体のモニター画面サイズを変更したときは「レシーバー」、クレードルのモニター画面サイズを変更したときは「クレードル」と表示されます。「レシーバー」と「クレードル」で別々の画面サイズを選択することはできません。ただし、別売りのモニターを使用して両方で映像を見るときは、別々の画面サイズを選択できます。

ディスクの盗難防止

ディスクを取り出せなくすることができます。



SOURCE



を押したまま

⊙/I/ATT



を2秒以上押す

- 表示窓に「NO EJT」が表示され、ディスクの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJT OK」が表示されディスクの取り出しができるようになります。

<お知らせ>

- 本機の動作の不具合などで、リセットボタン(→ 79ページ)を押すと、盗難防止機能は解除されます。

MP3ディスクのフォルダを選ぶ

フォルダ単位でスキップすることができます。



<タッチパネルで操作する>

FOLDER



を押す

<リモコンで操作する>

a または を押す

b のあと、 を押す

フォルダが切替わります。

<本体で操作する>

1

MODE/DISP



を押す

表示窓に「FOLDER」としばらく表示されます。

2

「FOLDER」表示中に または を押す

メニューから再生する

DVDビデオのメニューや、ビデオCDのPBC(プレイバックコントロール)を使って、タイトル、チャプターまたはトラックを指定し、再生することができます。



DVDビデオのメニューから選ぶ

DVDビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

1 FUNCTION をくり返し押しして操作アイコンを切替える



2 TOP MENU または MENU を押す

メニュー画面が表示されます。
・自動的にディスクのメニュー画面が表示されたときは、 を押して操作アイコンを表示させてください。

3 カーソル(↑/↓/←/→)を使って見たい映像や項目を選び、ENTER を押す

選んだところから再生されます。

- ・メニュー画面に戻りたいときは または を押します。
- ・ひとつ前のメニュー画面に戻りたいときは を押します。
- ・メニュー画面を消す を押します。手順1の操作画面に戻ります。

・画面中央を押すか、操作をせずに30秒経過するとメニュー画面は消えます。

ビデオCDのメニューから選ぶ

PBC(プレイバックコントロール)が記録されたビデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてモニターに表示されます。このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

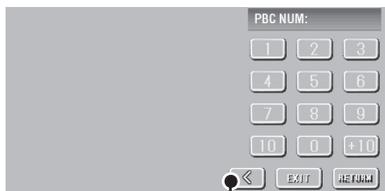
・PBCがオンのときは、モニターにPBC表示が表示されます。

1 FUNCTION をくり返し押しして操作アイコンを切替える



2 PBC CTRL を押す

PBC操作アイコンが表示されます。



画面の左側に操作アイコンを移動できます。

3 見たいところの番号を選ぶ

再生が始まります。

番号の選びかた

- ・1~10を選ぶ
その番号の数字を押します。
例) 番号「5」を選ぶ : を押す。
番号「10」を選ぶ : を押す。
- ・11以上を選ぶ
 を先に押してから ~ を押します。
例) 番号「23」を選ぶ : → → と押す。

ディスクを再生する(つづき)

メニューから再生する(つづき)

- ひとつ前のメニュー画面に戻りたいときは

 を押します。

- メニュー画面を消す

 を押します。手順**1**の操作画面に戻ります。

・画面中央を押すか、操作をせずに30秒経過するとメニュー画面は消えます。

- PBCをオフにする

停止中に  または  を押して見たいトラック/経過時間の数字を押します(⇒**42**ページ)。

PBCがオフになり、選んだ場所から再生が始まります。

リモコンで操作する場合

停止中に見たいトラック番号の数字を押します(⇒**35**ページ手順**3**)。

- PBCをオンにする

 を押します。

リモコンで操作する場合

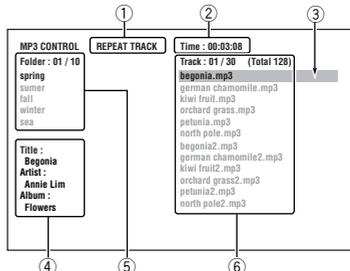
 または  を押します。

<お知らせ>

- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。このようなときは、モニターに「」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。

MP3ディスクの操作画面について

MP3ディスクを再生中、AV OUTPUT端子につないだモニターには次のような操作画面が表示されます。



- ① 現在の再生モード
- ② 演奏経過時間
- ③ カーソル
- ④ ID3タグ情報
- ⑤ フォルダリスト
・リストには、一度に5つまで表示されます。
- ⑥ ファイルリスト
・リストには、一度に12曲まで表示されます。
・モニターに表示されるファイル/フォルダ名は最大32文字です。

- CD再生中は、AV OUTPUT端子につないだモニターに現在のトラックや再生モードなどが表示されます。

今見たシーンをもう一度見る

今見たシーンをワンタッチで巻き戻して、もう一度見ることができます(チャット見バック)。



再生中に を押す

約10秒前のシーンに戻り、再生を開始します。

- ・シーンが異なるタイトルにまたがっているときは、チャット見バックは使えません。
- ・ディスクによっては、チャット見バックが使用できない場合があります。

画面を拡大する

画面上のお好みの場所を拡大して
見ることができます。

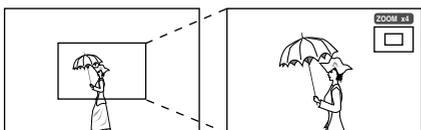


リモコンのみ

1 ZOOM DUAL を押す

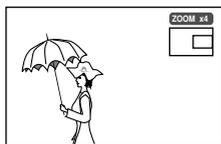
押すごとに、倍率は次のように変化します。

x2 → x4 → x8 → x1 → x2 → x4 →
x8 → ……



画面の右上部に現在の倍率と拡大位置表示
が表示されます。拡大したい場所を選
ぶには次の手順で行います。

2 OK を使って拡大したい部 分を選ぶ。



● 通常の画面に戻す

を押すか、「ZOOM x1」が表示され

るまで をくり返し押します。

<お知らせ>

- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

字幕を切換える

DVDビデオの中には、複数の字幕言語
が収録されているものがあります。そ
れらの中から希望する言語を選ぶこと
ができます。



複数の字幕が収録されているソフトでは、再
生中に が画面に表示されます。

- DVDの各種設定画面を使っても設定でき
ます(→ 52ページ)。

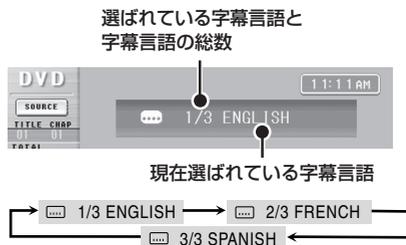
1 FUNCTION をくり返し押して操 作アイコンを切換える



2 をくり返し押して、字幕 言語を選ぶ

押すごとに、字幕言語が切替わります。

● 例



- DVDソフトによっては、ディスクのメ
ニュー画面(→ 35ページ)を使用しないと
言語を切換えられないことがあります。

ディスクを再生する(つづき)

音声言語/音声を切替える

DVDビデオの中には、複数の音声言語/音声(音声言語)が収録されているものがあります。それらの中から希望する音声言語/音声を選ぶことができます。ビデオCDの場合、音声を切替えることによって、カラオケの歌あり/なしを選ぶことができます。複数の音声言語/音声が収録されているDVDビデオでは、再生中に  が画面に表示されます。

・DVDの各種設定画面を使っても設定できます(→52ページ)。

1 をくり返し押して操作アイコンを切替える



2 をくり返し押して、音声言語/音声を選ぶ

押すごとに、音声言語/音声が切替わります。

- 例：DVDビデオのとき
選ばれている音声言語と音声言語の総数



- 例：ビデオCDのとき



- ・STEREO : ステレオ
- ・LEFT : 左チャンネル
- ・RIGHT : 右チャンネル

・ディスクによっては、ディスクのメニュー画面(→35ページ)を使用しないと言語を切替えられないことがあります。

アングルを切替える

DVDビデオの中には、複数のカメラを使って異なる角度から撮影した映像(マルチアングル)が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、どの角度からの映像を見るか選ぶことができます。マルチアングルが収録されているソフトでは、再生中に  が画面に表示されます。

1 をくり返し押して操作アイコンを切替える

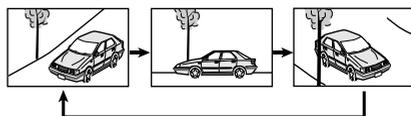


2 をくり返し押して、アングルを選ぶ

押すごとに、アングルが切替わります。

- 例

選ばれているアングルとアングルの総数



プレイリストを見ながら選ぶ

演奏中のディスクのフォルダ名やファイル名を、リストを見ながら選ぶことができます。



- フォルダを選ぶとき

MP3ディスクのみ

1 FUNCTION をくり返し押しして操作アイコンを切替える



2 FOLDER LIST を押す

フォルダ名のリストが表示されます。
再生中のトラックのファイル名またはID3タグ



元の画面に戻すときに押します
フォルダリスト

フォルダは5つまで表示されます。
6つ目以降のフォルダは、 または を押して表示させます。

3 演奏したいフォルダの操作アイコンを押す

選んだフォルダの演奏が始まります。

- トラックを選ぶとき

1 FUNCTION をくり返し押しして操作アイコンを切替える



2 TRACK LIST を押す

トラック名のリストが表示されます。

- 例：MP3ディスクのとき

MP3ディスク：再生中のフォルダ名またはID3タグ
CD/CDテキスト：ディスク名またはCDテキスト



元の画面に戻すときに押します
トラックリスト

トラックは5つまで表示されます。
6つ目以降のトラックは、 または を押して表示させます。

3 演奏したいトラックの操作アイコンを押す

選んだトラックの演奏が始まります。

ディスクを再生する(つづき)

文字情報を表示する

モニターにCDテキストやMP3ディスクのID3タグ、登録したディスクの名前を表示させることができます。



1 FUNCTION をくり返し押しして操作アイコンを切替える

- CDテキストのとき



- MP3ディスクのとき



2 TEXT (CDテキストのとき) または ID3 (MP3ディスクのとき) を押す

押すごとに、次のようにデータの表示方法が切替わります。



- **Once***: テキストは一度だけスクロールして表示されます。
- **Auto***: 5秒間隔でスクロールをくり返します。
- **Off**: テキスト表示が消えます。

* テキストが短い場合はスクロールしません。

時間表示を切替える

モニターに表示する時間表示を切替えることができます。

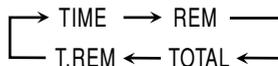


1 FUNCTION をくり返し押しして操作アイコンを切替える



2 TIME DISP を押す

押すごとに、次のように演奏時間の表示が切替わります。



- **TIME**: 再生中のチャプター/トラックの経過時間
- **REM**: 再生中のチャプター/トラックの残り時間
- **TOTAL**: ディスク/タイトルの総演奏時間
- **T.REM**: ディスク/タイトルの残り時間

〈お知らせ〉

- 画面に表示できる文字数は、最大で64文字までです(AV OUTPUT端子に接続したモニターの場合は、最大で32文字まで)。
- 文字表示は半角英数字が表示されます。漢字や全角文字は対応していません。

いろいろな再生モードを使用する

● リピート再生



1 FUNCTION をくり返し押しして操作アイコンを切替える



2 RPT をくり返し押しして、リピート再生のモードを選ぶ

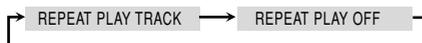
押すごとに、次のようにリピート再生のモードが切替わります。

● DVDビデオのとき



● ビデオCD/CDのとき

・ビデオCDでPBCオンのときには選べません。



● MP3ディスクのとき



- ・ CHAPTER : 再生中のチャプターをくり返し再生
- ・ TITLE : 再生中のタイトルをくり返し再生
- ・ TRACK : 再生中のトラックをくり返し再生
- ・ FOLDER* : 再生中のフォルダ内の全トラックをくり返し再生
- ・ OFF : DVDビデオのとき
リピート再生を解除
ビデオCD/CD/MP3ディスクのとき
ディスク内の全トラックをくり返し再生

* 「REPEAT PLAY FOLDER」は、MP3ディスクの再生中のみ選べます。

● ランダム再生



1 FUNCTION をくり返し押しして操作アイコンを切替える



2 RND をくり返し押しして、ランダム再生のモードを選ぶ

押すごとに、次のようにランダム再生のモードが切替わります。

● ビデオCD/CDのとき

・ビデオCDでPBCオンのときには選べません。



● MP3ディスクのとき



- ・ DISC : ディスク内の全トラックをランダムに再生
- ・ FOLDER* : 再生中のフォルダ内の全トラックをランダムに再生
全トラックを再生後、次のフォルダに移動します
- ・ OFF : ランダム再生を解除

* 「RANDOM PLAY FOLDER」は、MP3ディスクの再生中のみ選べます。



42ページに続きます。

ディスクを再生する(つづき)

いろいろな再生モードを使用する(つづき)

- イントロスキャン



1 FUNCTION をくり返し押して操作アイコンを切替える



2 INT をくり返し押して、イントロスキャンのモードを選ぶ

押すごとに、次のようにイントロスキャンのモードが切替わります。

- ビデオCD/CDのとき
・ ビデオCDでPBCオンのときには選べません。



- MP3ディスクのとき



- TRACK : 各トラックの頭を15秒ずつ再生
- FOLDER* : 各フォルダの最初のトラックの頭を15秒ずつ再生
- OFF : イントロスキャンを解除

*「INTRO SCAN FOLDER」は、MP3ディスクの再生中のみ選べます。

ダイレクトに選曲する

タイトル/チャプター(DVDビデオ)やトラック(ビデオCD/CD)、フォルダ(MP3ディスク)が素早くダイレクトに選べます。

- ・ ビデオCDでPBCがオンの場合は、停止中のみ使用できます。

1 FUNCTION をくり返し押して操作アイコンを切替える

- 例：DVDビデオのとき



2 サーチの操作アイコンを押す

- DVDビデオのとき

CHAP SEARCH : チャプターを選びます(再生時)。

TITLE SEARCH : タイトルを選びます(停止時)。

- ビデオCD/CDのとき

TRACK SEARCH : トラックを選びます。

- MP3ディスクのとき

FOLDER SEARCH : フォルダを選びます。

TRACK SEARCH : トラックを選びます。

- 例：DVDビデオを再生中



3 番号を入力し、**ENTER**を押す

選んだ番号から再生が始まります。

- ・ **CLEAR** を押すと、入力した数字が全て消去できます。

・リモコンで操作する

・1～10を選ぶ

その番号の数字ボタンを押します。

例) 番号「5」を選ぶ : **5** を押す。

番号「10」を選ぶ : **10** を押す。

・11以上を選ぶ

12:10 を先に押してから **1** ~ **10** を押します。

例) 番号「23」を選ぶ :

12:10 → **12:10** → **3** と押す。

リモコンでは、フォルダを選択することはできません。

指定した時間から再生する

現在のタイトル(DVDビデオ)またはディスクの頭(ビデオCD/CD)からの経過時間を指定することによって、希望の位置から再生を始めることができます(タイムサーチ)。



- ・ DVDビデオ : 再生中または一時停止中 (ディスクによってはいつでも)
- ・ ビデオCD : PBCオンで停止中またはPBCオフ
- ・ CD : いつでも

1 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切替える

・例 : DVDビデオのとき



2 **TIME SEARCH** を押す

・例 : DVDビデオを再生中



3 **1** ~ **0** を押して時間を入力し、**ENTER** を押す

入力した時間からの再生が始まります。

- ・ **CLEAR** を押すと、入力した数字が全て消去できます。

時間を入力する

・ DVDビデオのとき

時、分、秒の順に左詰めで数字を入力します。末尾の0は省略することもできます。

例 : 2時間34分から再生するとき

2 → **3** → **4** の順に押します。

TIME 2 : 34 : _ _

例 : 12分30秒から再生するとき

0 → **1** → **2** → **3** の順に押します。

TIME 0 : 12 : 3 _

・ ビデオCD/CDのとき

分、秒の順に左詰めで数字を入力します。末尾の0は省略することもできます。

例 : 3分40秒から再生するとき

0 → **3** → **4** の順に押します。

TIME 03 : 4 _

2つのソース(音源)を操作する

デュアルモードについて

メイン(MAIN)のソース(音源)と、サブ(SUB)のソース(音源)の、2つの異なるソース(音源)の操作をすることができます。

クレードルやAV OUTPUT端子に接続したモニターでSUBのソース(音源)を再生しながら、MAINのソース(音源)をスピーカーで聞くことができます。

- 市販のモニターシステムへの接続については、別冊の「取付説明書」をご覧ください。

ソース(音源)を選択する

- デュアルモードを「入」にして、SUBのソース(音源)を選ぶ

1 SOURCE を押す

ソース(音源)選択画面が表示されます。



2 DUAL を押す

ソース(音源)選択画面の下半分に、SUBのソース(音源)の選択画面が表示されます。

3 SUBのソース(音源)を選択する

- MAINとSUBのソース(音源)のアイコンがハイライト表示されます。



- MAINとSUBの操作画面を切替える

1 DUAL-MAIN SOURCE を押す

ソース(音源)選択画面が表示されます。



2 MAIN または SUB を押して画面を切替える

MAIN : MAINのソース(音源)の操作画面が表示されます。

SUB : SUBのソース(音源)の操作画面が表示されます。

例：SUBのソースの操作画面を表示中



デュアルモード表示(DUAL-MAINまたはDUAL-SUB)が表示されます。

- デュアルモードを「切」にする
左の手順2でもう一度 DUAL を押します。押すごとに「入/切」が切替わります。デュアルモードを「切」にすると、ソース(音源)選択画面を抜けてMAINのソース(音源)の操作画面になります。

〈お知らせ〉

- デュアルモードが「入」のときは、ディスクを入れてもソース(音源)は自動的に「DISC」には切替わりません。このとき、本体表示窓に「DUAL」が点滅表示されます。
- デュアルモードが「入」のとき、AV OUTPUT端子に接続したモニターにはSUBのソース(音源)の映像が表示されます。

リモコンでデュアルモードを操作する

リモコンで、SUBのソース(音源)の操作をすることができます。

- ・クレードルに接続したモニターを操作するときは、リモコンをクレードルに向けて操作してください。
- ・AV OUTPUT端子に接続したモニターを操作するときは、リモコンを本体に向けて操作してください。

• デュアルモードを「入/切」する

ZOOM

 を押し続けます。

DUAL

押し続けるごとにデュアルモードが「入/切」します。

- ・「入」にすると、ソース(音源)選択画面がモニターに表示されます。

• SUBのソース(音源)を操作する

1  を「SUB」に切替えます。

2 ソース(音源)ボタンを押してソース(音源)を選択したあと、操作したいボタンを押します。

• MAINのソース(音源)を操作する

1  を「MAIN」に切替えます。

2 ソース(音源)ボタンを押してソース(音源)を選択したあと、操作したいボタンを押します。

AV OUTPUT端子の音量を調節する

ハイダウエイユニットのAV OUTPUT端子から出力する音量の調節ができます。

- ・この機能は、デュアルモードの設定に関わりなく働きます。

1  をくり返し押して操作アイコンを切替える

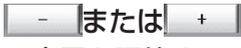
- ・ソース(音源)が「AV1」「AV2」のときはそのまま手順2に進みます。

2  を押す

サウンド設定アイコンが表示されます。

3  を押す

AVOUTの音量調節画面が表示されます。

4  または  を押して音量を調節する

• リモコンで操作する

MAIN | SUB

 を「SUB」に切替えたあと、 を

押して調節します。

サラウンド/DSPモードを使う

サラウンドモードについて

本機では次のサラウンドモードをお使いいただけます。

- **Dolby Digital:**
ドルビーデジタルソフト向けのモードです。5.1chサラウンド再生が可能です。
- **DTS:**
DTSソフト向けのモードです。5.1chサラウンド再生が可能です。
- **Dolby Pro Logic II Movie:**
映画ソフトに適した2ch音声信号ソフト向けのモードです。5.1chサラウンド再生が可能です。
- **Dolby Pro Logic II Music:**
音楽ソフトに適した2ch音声信号ソフト向けのモードです。5.1chサラウンド再生が可能です。

DSPモードについて

DSPモードでは、日本ビクター独自の音響効果により、オリジナル信号に対し残響音や初期反射音を加え、サラウンドを実現します。本機では、次のDSPモードが用意されています。

- **HALL:**
クラシック音楽用コンサートホールの音響効果を再現します。
- **LIVE:**
天井の低い小規模のコンサートホールの音響効果を再現します。
- **CLUB:**
ダンス会場の音響効果を再現します。
- **DOME:**
天井の高いスタジアムの音響効果を再現します。
- **THEATER:**
映画館の音響効果を再現します。

<お知らせ>

- 「オートサラウンド」が「オン」のときは、音声に合わせてサラウンドモードが自動的に選ばれます(⇒ 55ページ)。
- 「スピーカーサイズ」で「フロント」と「センター」が「なし」に設定されていると、サラウンド/DSPモードは使用できません(⇒ 56ページ)。

サラウンド/DSPモードを使用する

1 **FUNCTION** をくり返し押しして操作アイコンを切替える

- ・ソース(音源)が「AV1」「AV2」のときはそのまま手順2に進みます。

2 **SOUND** を押す

サウンド設定アイコンが表示されます。



3 **SURR** をくり返し押しして、サラウンド/DSPモードを選ぶ

押すごとに次のようにサラウンド/DSPモードが切替わります。

- マルチチャンネル信号のソースを再生中

Surround On (DSP Off) ↔ DEFEAT (Surround Off)

- 2ch音声信号(ステレオ)のソースを再生中



- **Surround On (DSP Off)**

ドルビーマルチチャンネル信号のディスクを再生したとき:

「Dolby Digital」が自動的に選ばれます。

DTSマルチチャンネル信号のディスクを再生したとき:

「DTS」が自動的に選ばれます。

その他のディスクやソース(音源)のとき:
ドルビープロロジックIIが選ばれます。

「Dolby Pro Logic II Movie」「Dolby Pro Logic II Music」を選択できます。

- **DSP On (Surround Off):**

前回選んでいたDSPモードが「入」になります。

- **DEFEAT (Surround/DSP Off):**

サラウンドモードとDSPモードが解除されます。

サラウンド/DSPモードの設定をする

1 設定するサラウンド/DSPモードを選ぶ(⇒ 46ページ)

サウンド設定アイコンが表示されます。



2 **SURR MODE** を押す

サラウンド/DSPモードの設定画面が表示されます。

例: Surround On が選ばれているとき



DTS
DTS信号のディスクが再生されているときに選ばれます。設定の変更はできません。

DOLBY DIGITAL
ドルビーマルチチャンネル信号のディスクが再生されているときに選ばれます。設定の変更はできません。

PRO LOGIC II
MOVIE と **MUSIC** を選べます。
MUSIC を選んだときは、次の項目が設定ができます。

- ・ **PANORAMA**
「ON」のとき、音声回りこんでくるような効果を強調します。

- ・ **CENTER WIDTH**
センタースピーカー音声の広がりの度合いを「OFF」または「1」から「7」の範囲で調節します。「OFF」または数字が小さいほど中央にまとまって聞こえます。使用する場合、通常は「4」を選びます。

例: DSP On が選ばれているとき



- 1) DSPモードを選びます。
- 2) **EFFECT LEVEL** を押して、エフェクトレベルを調節します。
数字が大きいほどDSPモードの効果の度合いが強くなります。

- サラウンド/DSPモードで「DEFEAT」を選択している場合は、設定を変更はできません。

iEQ*を使う

本機には、あらかじめ9つのiEQパターンがメモリーされています。「USER1」～「USER3」には、お好みのiEQパターンが設定できます。

* iEQとは：

intelligent Equalizer(インテリジェントイコライザー)の略で「等化器」とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称。

選択可能なiEQパターン

- FLAT (フラットな音で出力されます)
- HARD ROCK (ハードロック)
- R & B (リズム&ブルース)
- POP (ポップス)
- JAZZ (ジャズ)
- DANCE (ダンスミュージック)
- COUNTRY (カントリーミュージック)
- REGGAE (レゲエ)
- CLASSIC (クラシック)
- USER1 } ユーザー設定
- USER2 }
- USER3 }

〈お知らせ〉

- USER1～USER3には、自分で調節したiEQパターンがメモリーできます。お買い上げ時はFLATと同じiEQパターンになっています。
- デュアルモードのSUBのソース(音源)のときは使用できません。

iEQパターンを呼び出す

1 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切替える

・ソース(音源)が「AV1」「AV2」のときはそのまま手順2に進みます。

2 **SOUND** を押す

サウンド設定アイコンが表示されます。



3 **iEQ** を押す

iEQパターン選択画面が表示されます。



・iEQパターンは6種類ずつ表示されます。次の6種類を選ぶには、**MORE** を押して表示させます。

4 iEQパターンを選ぶ

選んだiEQパターンでソース(音源)を聞くことができます。

調節したiEQを記憶(メモリー)させる

USER1～USER3には、自分で調節したiEQのバンドのレベルがメモリーできます。

1 調節したいiEQパターンを選ぶ

2 **▲** または **▼** を押して、各バンドのレベルを調節する

3 **MEMORY** を押す

4 **USER1** **USER2** **USER3** からメモリーするパターンを選ぶ

・手順3で**RETURN**を押すと、メモリーせずに調節したiEQパターンでソース(音源)を聞くことができます。

〈お知らせ〉

- 本機の動作の不具合などで、リセットボタン(⇒79ページ)を押すと、調節したiEQパターンはFLATと同じiEQパターンに戻ります。

その他の音声調節

ソース(音源)ごとの音量を調節する

ソース(音源)がFMのときの音量を基準として、ソース(音源)ごとの音量の違いを調節することができます。

- ・ソース(音源)がFMのときの音量を調節することはできません。

1 FUNCTION をくり返し押して操作アイコンを切替える

- ・ソース(音源)が「AV1」「AV2」のときはそのまま手順2に進みます。

2 SOUND を押す

サウンド設定アイコンが表示されます。



3 VOL ADJ を押す

音量調節画面が表示されます。



4 + または - を押して音量レベルを調節する

ソース(音源)を変えると、調節した音量に変わります。

● 前の画面に戻す

RETURN を押します。

スピーカーの出力バランスを調節する

左右のスピーカーからの音声の出力バランスや、前後の出力バランスを調節します。

1 FUNCTION をくり返し押して操作アイコンを切替える

- ・ソース(音源)が「AV1」「AV2」のときはそのまま手順2に進みます。

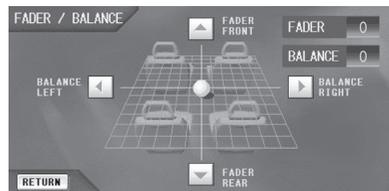
2 SOUND を押す

サウンド設定アイコンが表示されます。



3 FAD BAL を押す

出力バランス調節画面が表示されます。



4 出力バランスを調節する

- ・左右のバランスを調節するには:
BALANCE LEFT または **BALANCE RIGHT** を押します。
- ・前後のバランスを調節するには:
FADER FRONT または **FADER REAR** を押します。

● 前の画面に戻す

RETURN を押します。

〈お知らせ〉

- デュアルモードが「入」でSUBのソース(音源)のときは、AV OUT VOL以外は調節できません。
- 出力バランスはデュアルモードのSUBのソース(音源)には影響しません。
- 2スピーカー接続のときは、「FADER」は「0」に設定してください。
- 出力バランスが極端に偏っていると、サラウンド/DSPモードが十分な効果を出せないことがあります。

モニターを調節する

モニターの映像を調節する

モニターの明るさなどを、お好みに合わせて調節することができます。

<本体で操作する>

1 **ASPECT** を押し続ける

<リモコンで操作する>

1 **ASPECT** を押し続ける

スクリーンコントロール画面が表示されます。



クレードルにモニターを接続している場合は「クレードル」と表示されます。

2 調節する項目を選ぶ

次の項目を調節することができます。

- ・ **明るさ**: 画面の明るさを調節します (暗いー明るい)。
周りの明るさが変わると、連動して明るさが自動的に調節されます。
- ・ **コントラスト**: コントラストを調節します (弱いー強い)。
- ・ **色合い**: 肌色を調節します (赤ー緑)。
- ・ **色の濃さ**: 色の濃さを調節します (薄いー濃い)。

例: 「明るさ」を選んだとき



3 アイコンを押して調節する

例: 「明るさ」を選んだとき

明るい または **暗い** を押して調節します。

4 **戻る** を押して前の画面に戻る

5 手順**2~4**をくり返して他の項目(コントラスト、色合い、色の濃さ)を調節する

<お知らせ>

- ・ **周りの明るさ**: 現在の周りの明るさを表わします。外光センサーで周囲の明るさを感じ、連動して画面の明るさが自動的に調節されます。
- ・ 映像ソースを再生していないときは、「明るさ」以外は調節できません。

各種設定を変更する

各種設定画面での設定方法

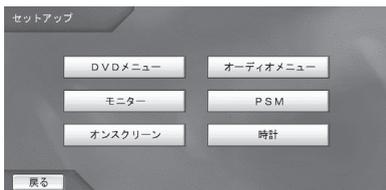
SETUPで表示される設定画面から、各種の設定を変更することができます。

1 FUNCTION をくり返し押して操作アイコンを切替える

- ・ソース(音源)が「AV1」「AV2」のときはそのまま手順2に進みます。

2 SETUP を押す

各種設定画面が表示されます。



DVDメニュー

DVDビデオについての設定を行います(→ 52ページ)。

モニター

モニターについての設定を行います(→ 53ページ)。

オンスクリーン

画面表示についての設定を行います(→ 54ページ)。

オーディオメニュー

音声やスピーカーについての設定を行います(→ 55ページ)。

- ・デュアルモードが「入」でSUBのソース(音源)のときは、「オーディオメニュー」を選択することはできません。

PSM

その他の各種設定(PSM)を変更します(→ 57ページ)。

時計

時刻を設定します(→ 17ページ)。

3 設定を変更したいメニューを選ぶ

設定画面が表示されます。

例: 「DVDメニュー」を選択したとき



4 変更したい項目を選ぶ

設定項目が表示されます。

例: 「DVDメニュー」で「モニタータイプ」を選択したとき



現在の設定は青く点灯します

5 設定を変更する

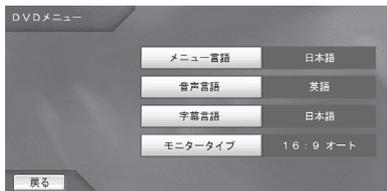
- ・前の画面に戻す

戻る を押します。

各種設定を変更する(つづき)

DVDの設定をする (DVDメニュー)

DVDビデオ/ビデオCDについての各種設定を変更します。



- ディスク再生中は設定を変更できません。また、一度ディスクを取り出すまでは変更した設定は有効になりません。

メニュー言語

DVDビデオのメニュー画面に表示される言語が選べます。

音声言語

DVDビデオの音声言語が選べます。

字幕言語

DVDビデオの字幕言語が選べます。

- ・ 字幕なしの場合は「OFF」を選びます。

言語は、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、スペイン語、中国語、イタリア語、AA～ZUの言語コードから選べます。言語コードは「言語コード一覧表」をご覧ください(⇒ 83ページ)。

言語コードの入力のしかた

1 を押す。

言語コード入力画面が表示されます。

2 言語コードを入力し、 を押す。

カーソルを動かします



カーソル位置の左にある文字を削除します

モニタータイプ

接続したモニターに合わせて画面表示を選びます。

- 本機のワイドモニターを使用している場合は、「16:9 オート」を選びます。

● 16:9 ノーマル

画面サイズが16:9に固定されているワイドモニターと接続したときは、この設定にします(本機が4:3で収録されたDVDビデオを再生するとき、出力信号の画面幅を自動調節します)。

● 16:9 オート

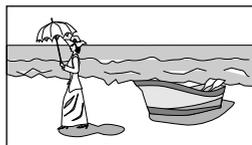
市販のワイドモニターと接続したときは、この設定にします。

● 4:3 レターボックス

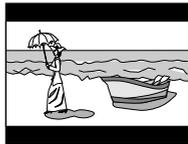
上下に黒い帯がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のモニター(縦横比4:3)に接続したときは、この設定にします。

● 4:3 パンスキャン

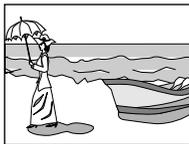
左右両端が切り取られた状態で映ります。上下に黒い帯は映りません。通常のモニター(縦横比4:3)に接続したときは、この設定にします。



16:9 ノーマル/オート



4:3 レターボックス



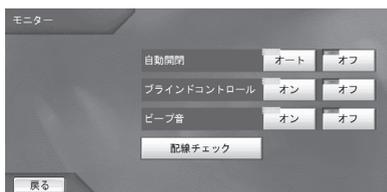
4:3 パンスキャン

<お知らせ>

- DVDソフトによっては、「4:3 パンスキャン」を選んでいても「4:3 レターボックス」で映像が表示されることがあります。これは、DVDソフトの仕様によるものです。

モニターの設定を変更する(モニター)

モニターの設定が変更できます。



自動開閉

- ・ **オート**
電源の「入/切」に合わせて、自動的にモニターが立ち上がる* / 格納されるようになります。
- ・ **オフ**
この機能は働きません。

* 電源を切る前にモニターを格納していた場合は、次回電源を入れてもモニターは格納されたままになります。

ブラインドコントロール

- ・ **オン**
映像を表示中のモニターがタッチパネルとして使用できるようになります。



上の例はどこに触れれば操作ができるかを表したものです。実際には境界線はモニター上には表示されません。

画面上部/下部(②、④)

音量の調節ができます。

画面左/右(①、⑤)

- ・ DVDビデオ/ビデオCDのチャプター/トラックの頭出し/早送り/早戻しができます。
- ・ TVチャンネルが選べます。

画面中央(③)

操作画面を「入/切」します(この操作は、「ブラインドコントロール」が「オフ」のときにも働きます)。

DVD、TVなどの映像ソース(音源)のとき、「切」にできます。

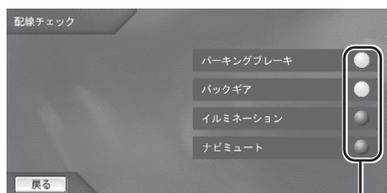
- ・ **オフ**
この機能は働きません。

ピープ音

- ・ **オン**
操作する際にピープ音がなります。
- ・ **オフ**
ピープ音がなりません。

配線チェック

車の各機器との配線がつながれているか確認できます。



入力信号を認識すると点灯します。

各種設定を変更する(つづき)

画面表示の設定を変更する(オンスクリーン)

画面表示についての設定を行えます。



オンスクリーン言語

各種設定画面や警告メッセージ等で表示される言語を、日本語と英語から選べます。

ガイド

- **オン**
DVDプレイヤーを操作するとき、モニターにオンスクリーンガイド(⇒ 32ページ)が表示されます。TVチューナーが接続されているときは、TVチューナーのオンスクリーンガイドが表示されます。
- **オフ**
オンスクリーンガイドが表示されません。

メッセージ

- **オン**
スピーカー/音声信号表示(⇒ 32ページ)や、各種メッセージが表示されます。以下のような場合に、モニターにメッセージが表示されます。
- リピート再生やランダム再生、イントロスキップを選んだとき
- タイムサーチ、タイトルサーチ、チャプターサーチ、トラックサーチをおこなったとき

例：リピート再生モードを選択中



- **オフ**
メッセージは表示されません。

時計

- **オン**
操作画面表示中に、モニターの右上に時刻が表示されます。
- **オフ**
時刻が表示されません。

アニメーション効果

- **オン**
ソース(音源)選択画面を表示するときと、ソース(音源)画面に戻るときの表示がスライド表示されます。
- **オフ**
スライド表示されません。

音声やスピーカーの設定を変更する(オーディオメニュー)

音声やスピーカーについての設定を変更します。



- デュアルモードが「入」でSUBのソース(音源)のときは、「オーディオメニュー」を選択することはできません。

オートサラウンド

再生したディスクの種類に応じて、自動でサラウンドモードがオンになるように設定できます。

- オン
 - 信号に応じて、サラウンドモードが自動で選ばれます。
 - ドルビーデジタルマルチチャンネルの音声信号を認識したとき「Dolby Digital」が自動で選ばれます。
 - DTSマルチチャンネルの音声信号を認識したとき「DTS」が自動で選ばれます。
 - ドルビーサラウンド(PLII)の音声信号を認識したとき「Dolby Pro Logic II MOVIE」が自動で選ばれます。
 - リニアPCMの音声信号を認識したとき「Dolby Pro Logic II MUSIC」が自動で選ばれます(DVD/CD)。
 - その他の音声信号のとき「DDEFAT」が自動で選ばれます。
- オフ
 - この機能は働きません。

シートポジション

リスニングポジションの設定ができます。



「スピーカー距離」と「スピーカーレベル」は、各シートポジションごとに別々に記憶されます。

- 前席 左
 - 前席左をリスニングポジションに設定します。
- 前席 右
 - 前席右をリスニングポジションに設定します。
- 全席
 - 前部座席と後部座席の中央をリスニングポジションに設定します。
- 後席
 - 後部座席中央をリスニングポジションに設定します。
- スピーカー距離
 - スピーカー距離設定画面が表示されます。各スピーカーとリスニングポジションとの距離を登録できます。



- ◀ または ▶ を押して、スピーカーとリスニングポジションとの距離を登録します。
- メートル または フィート で、距離の表示の単位を切換えます。



56ページに続きます。

各種設定を変更する(つづき)

音声やスピーカーの設定を変更する(オーディオメニュー)(つづき)

・スピーカーレベル

スピーカーレベル設定画面が表示されます。各スピーカーの出力レベルを調節できます。



- ・ または を押して、各スピーカーの出力レベルを調節します。
- ・ **テストトーン** を押すと、各スピーカーからテストトーンが順番に出力されます。テストトーンを止めるには、もう一度 **テストトーン** を押します。

DRC(ダイナミックレンジコンプレッション)

ダイナミックレンジ(最大音声と最小音声の差)を圧縮することができます。音量を小さめにしてサラウンドを楽しみたいときなどに使用します。

・オフ

ダイナミックレンジを圧縮しないで音声を楽しみたいときに選びます。

・標準

ダイナミックレンジを少しだけ圧縮したいときに選びます。

・最大

ダイナミックレンジを圧縮したいときに選びます。

- ー フロント/リアを両方とも「なし」には設定できません。
- ー フロントが「小」のときはセンターを「大」にはできません。
- ー フロントが「なし」のときはセンターも「なし」になります。

・サブウーハー

サブウーハーを「はい(あり)/いいえ(なし)」から選びます。

・サブウーハー位相

同相/逆相から、サブウーハーの音が良く聞こえる方を選びます。

・各スピーカーの設定は、互いに関係しています。そのため、一つの設定を変更すると、それに合わせて他の設定が変わることがあります。

・全てのスピーカーを「大」に設定していると、Dolby Pro Logic IIモードの際にサブウーハーから音声は出力されません。フロントまたはセンターのスピーカーを「小」に設定してください。

クロスオーバー

小さいスピーカーを使用しているときに、クロスオーバー周波数を設定できます。設定値より低い周波数の音は、サブウーハー(ない場合は「大」に設定されたスピーカー)から出力されます。

設定値を大きくすると、小さなスピーカーを接続していても低音要素が損なわれにくくなります。

アンプゲイン

本機の最大出力レベルを設定します。スピーカーの最大入力力が50W以下のときは、破損を防ぐために「低出力」を選んでください。

・高出力

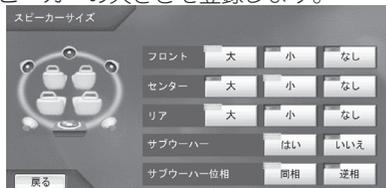
スピーカーの最大入力力が50Wより大きいときに選びます。音量は0~50で使用できます。

・低出力

スピーカーの最大入力力が50W以下のときに選びます。音量は0~30で使用できます(音量が30よりも大きいときに設定すると、音量は自動で30になります)。

スピーカーサイズ

スピーカーサイズ設定画面が表示されます。スピーカーの大きさを登録します。



・フロント/センター/リア

スピーカーのサイズを「大(13cm以上)/小(13cm未満)/なし」から選びます。

その他の各種設定をする(PSMモード) (PSM)

その他の設定を変更します。



AV2入力選択

ハイダウエイユニットのAV INPUT2端子の設定をします。

- ・ソース(音源)が「AV2」のときは、この設定は変更できません。



AV2入力選択

AV INPUT2端子に接続する機器を、「ナビ」、「ビデオ」または「カメラ」から選びます。

・ナビ

AV INPUT2端子にカーナビゲーションシステムを接続するときに選びます。「ナビ」を選んだ場合、「ナビ入力極性」の設定ができます。

・ビデオ

AV INPUT2端子に映像機器を接続するときに選びます。

・カメラ

AV INPUT2端子にリアビューカメラを接続するときに選びます。「カメラ」を選んだ場合、「バックギア」と「カメラ表示」の設定ができます。

・バックギア

・オート

ギアをバックに入れると、自動的にリアビューカメラからの映像が表示されます。

—この機能を使うには、「リアカメラ」コードを車両のバックランプコードに接続しておく必要があります。詳しくは別冊の取付説明書をご覧ください。

・オフ

自動的に切り換わりません。リアビューカメラからの映像を見るには、ソース(音源)を「AV2」にします。

・カメラ表示

・通常

カメラからの映像がそのまま表示されます。

・反転

カメラからの映像が、左右反転して表示されます。

・ナビ入力極性

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミュート)できます。

—この機能を使うには、「ミュート」コードを車両のミュートコントロールに接続しておく必要があります。詳しくは別冊の取付説明書をご覧ください。

・ミュート1

通常はこの設定にします。ミュートが「ON/OFF」することを確認してください。

・ミュート2

ミュート1ではミュートが「ON/OFF」しない場合、こちらの設定にします。

FM IFフィルタ

FM放送が受信しにくいときに設定を変更します(→ 24ページ)。

テレビチャンネルエリア

TVチューナーを接続しているときに表示されます。この項目は設定を変更できません。

放送局名/ディスク名を登録する

放送局名/テレビ局名を各30局分(最大10文字)とディスク名を40枚分(最大32文字)を登録しておくことができます。

名前を登録する

1 名前を登録したいソース(音源)を準備する

- FM、AM:
登録したい局を受信します。
- 本機で再生するCD:
CDを入れます。
- CDチェンジャー:
ソース(音源)に「CD-CH」を選び、ディスクを選びます。
- TV局:
ソース(音源)に「TV」を選び、チャンネルを選びます。

2 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切替える

3 **NAME** を押す

文字入力画面が表示されます。

例：アルファベット(大文字)入力画面



- : カーソルを移動します。
- : スペースを入力します。
- : 最後に入力した文字を消すことができます。
- : アルファベットの大文字と小文字を切替えます。
- : アルファベットとアクセント符号付きの文字とを切替えます。
- : 表示するアクセント符号付きの文字を切替えます。
- : 入力した文字をすべて消すことができます。

4 **ENTER** を押す

- 前の画面に戻す

を押します。

<お知らせ>

- DVDビデオ、ビデオCD、CDテキスト、MP3ディスクには、ディスク名の登録ができません。
- 31局目の放送局名を入力しようとする、「放送局名を削除してください。」と表示され、登録ができません。
- 41枚目のディスク名を入力しようとする、「ディスク名を削除してください。」と表示され、登録ができません。

- 「放送局名を削除してください。」または「ディスク名を削除してください。」が表示されたら

31局目の放送局名または41枚目のディスク名を登録しようとする時、次の画面が表示されます。不要な名前を削除してから再度入力してください。

例：「ディスク名を削除してください。」が表示されたとき



1 不要な名前を選ぶ

 または  を押すと前のページ(または次のページ)が表示されます。

2 DEL を押す

選んだ名前が削除されます。

3 手順1と2をくり返して、不要な名前を削除する

- 前の画面に戻す

 を押します。

モニターの表示を切換える

レベルメーターを切換える

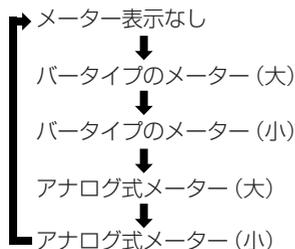
モニター上に表示するレベルメーターを切換えることができます。

1 **FUNCTION** をくり返し押し続けて操作アイコンを切換える

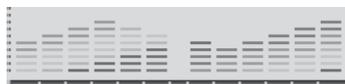


2 **DISP** を押す

押すごとに、次のようにレベルメーターの表示が切替わります。



バータイプのメーター(大) :



バータイプのメーター(小) :



・音声がでないときは、レベルメーターは表示されません。

アナログ式メーター(大) :



アナログ式メーター(小) :



<お知らせ>

- 映像ソースの表示中やデモ表示中は、レベルメーターは表示できません。
- デュアルモードが「入」でSUBのソース(音源)のときは、**DISP** を選択できません。

モニターの画像を変更する

モニターに表示される画像を切替えることができます。

1 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切替える



2 **GRAP** を押す

押すごとに、モニターの画像が切替わります。

- ・ 画像の種類は、下にある「モニターの画像について」をご覧ください。

タッチパネルの色を変更する

操作アイコンとソース(音源)の情報画面の色を、青、銀、赤、黒の4色から選べます。

1 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切替える



2 **PANEL** を押す

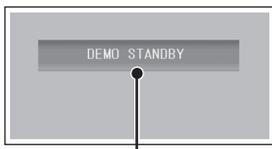
押すごとに、パネルの色が切替わります。

<お知らせ>

- ・ 映像を再生中に画像を変更すると、再生している映像は見るができなくなります。映像を見るには、映像が表示されるまでGRAPを押して画像を切替えます。
- ・ ソース(音源)を映像ソースに切替えると、画像は一時的にソースの映像に切替わります。

モニターの画像について

モニターの画像は、以下の画像から選べます(□ がお買い上げ時の設定(初期設定)です)。



- ・ DVD/ビデオCD再生中以外の場合、デモ表示機能が働きます。約30秒操作をしないでいると、自動でデモ表示が始まります。デモ表示機能を解除するときは、**GRAP**を押してモニターの画像を初期設定以外の画像に切替えます。また**DISP**が使えることを確認してください(⇒ 60ページ)。



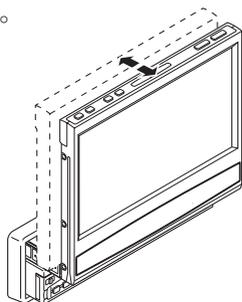
モニターの調節と取り外し

モニターの位置を調節する

本体のみ

1  を押す

押すごとに、モニターが前後にスライドします。



モニターの角度を調節する

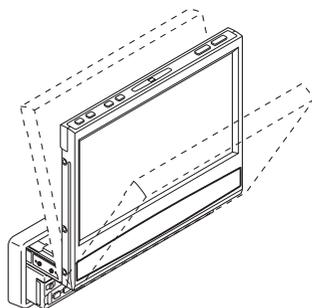
本体 / リモコンのみ

<本体で操作する>

  をくり返し押して角

度を調節する

・ ボタンを押し続けると、モニターの角度が最大(最小)になります。



<リモコンで操作する>

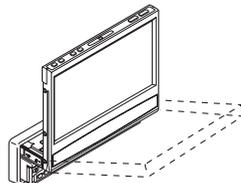
1  を「MAIN」に切替える

2   で角度を調節する

- モニターの背後にある車両のスイッチを操作するときは

 を押します。

下の図のようにモニターが前方に倒れます(このとき、 を押し続けるとモニターの取り外しができます)。もう一度ボタンを押すか、約30秒経つと元の角度に戻ります。

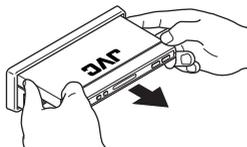
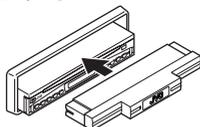


モニターを取り外す

本体のみ

1  を押し続ける

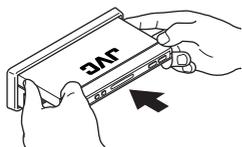
モニターが取り出せるようになります。
・モニターが立ち上がっているときに押すと、モニターは一度格納されます。

2 モニターを取り外す**3** モニターを取り外したところにブラインドカバーを取りつける

<お知らせ>

- ・モニターを取り外したり、取り付けするときは、モニターを落とさないようにご注意ください。また、接続端子に傷やほこりがつかないようにご注意ください。
- ・モニターを取り外したあとは内部の機械にほこりがつかないように、必ずブラインドカバーをつけてください。

- モニターを取り付けるときは画面を下側にして差し込みます。



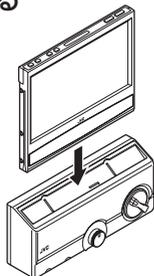
後部座席でモニターを使用する

本機に付属のクレードルを使用することで、後部座席でモニターの映像を見たり、操作をしたりすることができます。

・クレードルの接続については、別冊の「取付説明書」をご覧ください。

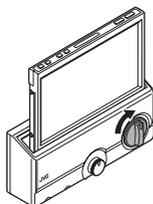
モニターを取り付ける

1 クレードルにモニターを取り付ける



2 EJECT/LOCKレバーのつまみを回してモニターを固定する

つまみを「LOCK」の位置に回すと、モニターが固定されます。

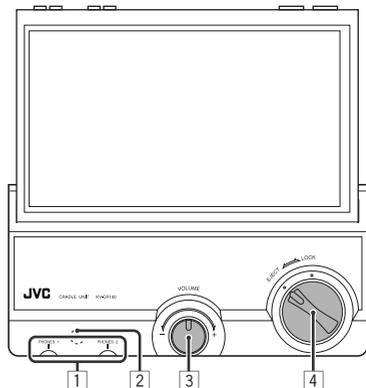


・モニターを取り付けるときは、クレードルにしっかりと差し込んでください。完全に差し込んでいない状態でつまみを回すと、EJECT/LOCKレバーを破損する恐れがあります。

・モニターを取り外すときは
つまみを回して「EJECT」の位置にした後、クレードルから取り外します。

別売モニターKV-MAV7001を使用する場合
本体にもモニターを接続している場合、クレードルのモニターで映像ソースを見るにはサイドブレーキを引いておく必要があります。

クレードルの各部の働き

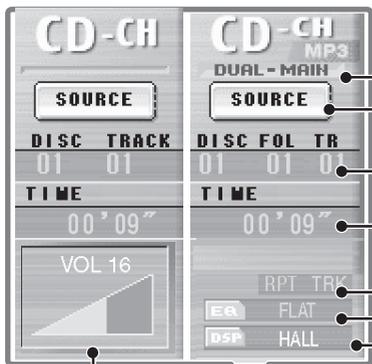


- ① PHONES1/PHONES2 端子
ミニプラグ付ヘッドホン(別売り)をつなぎます。
 - ② リモコン受光部
リモコンで操作する場合、ここに向けて操作します。
 - ③ VOLUMEつまみ
音量が調節できます。
 - ④ EJECT/LOCK レバー
・つまみを「LOCK」の位置に回すと、モニターが固定されます。
・つまみを「EJECT」の位置に回すと、モニターが取り外せます。
- ・クレードルに接続した場合、モニターのボタンは  と  以外は使用できません。
(タッチパネルでの操作はおこなえます)

CDチェンジャー(別売)のCDを聞く

後部座席でモニターを使用する・CDチェンジャー(別売)のCDを聞く

CDチェンジャーの操作画面の見方

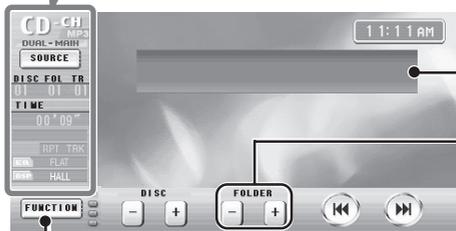


デュアルモード表示(→ 44ページ)
ソース(音源)選択アイコン

現在のディスク/トラック番号 (CD)
現在のディスク/フォルダ/トラック番号 (MP3ディスク)
演奏時間

再生モード(→ 69ページ)
サウンドモード(→ 48ページ)
サラウンド/DSPモード(→ 46ページ)

音量を調節中に表示
されます。



CDテキスト/
ID3タグ表示
(MP3ディスクのみ
→ 66ページ)

FUNCTIONを押すごとに、
操作アイコンが切替
わります。

CD/CDテキスト

MP3ディスク



→ 51ページ (SETUP)
→ 45~49ページ (SOUND)
→ 60ページ (DISP)
→ 58ページ (CDのみ) (PANEL)
→ 61ページ (NAME)

(元に戻る)

CDチェンジャー(別売)のCDを聞く(つづき)

全曲演奏(全CDのくり返し演奏)

1 ソース(音源)で「CD-CH」を選ぶ

SOURCE を押したあと、 を押す。

<リモコンで操作する>

DISC をくり返し押して「CD-CH」を選ぶ

<本体で操作する>

SOURCE
S をくり返し押して「CD-CH」を選ぶ

例：CD/CDテキストを再生しているとき



例：MP3ディスクを再生しているとき



- 操作アイコンでのCDチェンジャーの操作
タッチパネルの操作アイコンでは、つぎの操作ができます。

 : ディスクを選択する。

 : フォルダを選択する (MP3 ディスクのみ)。

 : 再生中のトラックの頭に移動します。押すごとに前のトラックの頭に移動します。
・押し続けると早戻しになります。

 : 押すごとに次のトラックの頭に移動します。
・押し続けると早送りになります。

● 演奏を途中でやめる

- **SOURCE** を押して他のソース(音源)に切替えます。
・電源を「切」にしても停止します。

<お知らせ>

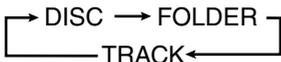
- 本機でコントロールできるチェンジャーについて
 - ・CH-MPシリーズのMP3チェンジャー
 - ・CH-XシリーズのCDチェンジャー (CH-X99/CH-X100を除く)
- KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。
- MP3ディスクの操作は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。
- CDテキストの文字情報を表示するには、CDテキストに対応したCDチェンジャーを接続する必要があります。
- CDチェンジャーの操作については、CDチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。

ディスク/フォルダ/トラックを選ぶ

ディスク/フォルダ(MP3ディスクのみ)/トラックを選ぶことができます。

1 MODE/DISP (M) を押す

押すごとに次のように切り替わります。



- ・ DISC : ディスクを選択します。
- ・ FOLDER : フォルダを選択します。
- ・ TRACK : トラックを選択します。

2 ◀ または ▶ を押す

押すごとにディスク/フォルダ/トラックが切り替わります

- ・ リモコンでディスクを選ぶには
1~12の数字ボタンを押すと、ディスクをダイレクトに選ぶことができます。

プレイリストを見ながら選ぶ

- ・ ディスクを選ぶとき

1 FUNCTION をくり返し押して操作アイコンを切替える



2 DISC LIST を押す

ディスクのリストが表示されます。

- ・ 例：MP3ディスクのとき



ディスクの名前を登録してある場合は、名前が表示されます。

元の画面に戻すときに押します

ディスクは最大6つまで表示されます。7つ目以降のディスクは、▲ または ▼ を押して表示させます。

3 ディスクを選ぶ

選んだディスクの演奏が始まります。

- ・ フォルダを選ぶとき

MP3 ディスクのみ

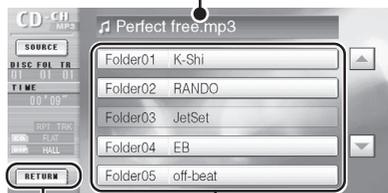
1 FUNCTION をくり返し押して操作アイコンを切替える



2 FOLDER LIST を押す

フォルダ名のリストが表示されます。

再生中のトラックのファイル名またはID3タグ



フォルダリスト
元の画面に戻すときに押します

フォルダは最大5つまで表示されます。6つ目以降のフォルダは、▲ または ▼ を押して表示させます。

- ・ リストには再生できないフォルダ (MP3ファイルを含まないフォルダ) も表示されます。そのため、本体でリストを表示したときと番号が異なる場合があります。

3 フォルダを選ぶ

選んだフォルダの演奏が始まります。



68ページに続きます。

CDチェンジャー(別売)のCDを聞く(つづき)

プレイリストを見ながら選ぶ(つづき)

- トラックを選ぶとき

1 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切替える



2 **TRACK LIST** を押す

トラック名のリストが表示されます。

- 例：MP3ディスクのとき

MP3ディスク：再生中のフォルダ名またはID3タグ

CD/CDテキスト：ディスク名またはCDテキスト



トラックリスト

元の画面に戻すときに押します

トラックは最大5つまで表示されます。

6つ目以降のトラックは、**▲**または**▼**を押して表示させます。

3 トラックを選ぶ

選んだトラックの演奏が始まります。

文字情報を表示する

モニターにMP3ディスクのID3タグやCDテキスト、登録したディスク名を表示させることができます。

1 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切替える

- CDのとき

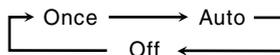


- MP3ディスクのとき



2 **TEXT** (CDテキストのとき)または**ID3** (MP3ディスクのとき)を押す

押すごとに、次のようにデータの表示方式が切替わります。



- **Once***：テキストは一度だけスクロールして表示されます。
- **Auto***：5秒間隔でスクロールをくり返します。
- **Off**：テキスト表示が消えます。

* テキストが短い場合はスクロールしません。

<お知らせ>

- 画面に表示できる文字数は、最大で64文字までです(AV OUTPUT端子に接続したモニターの場合は、最大で32文字まで)。
- 文字表示は半角英数字が表示されます。漢字や全角文字は対応していません。

いろいろな再生モードを使用する

●リピート再生

1 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切り換える



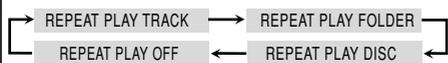
2 **RPT** をくり返し押して、リピート再生のモードを選ぶ

押すごとに、次のようにリピート再生のモードが切りかわります。

●CDのとき



●MP3ディスクのとき



- **TRACK** : 再生中のトラックをくり返し再生
- **FOLDER*** : 再生中のフォルダ内の全トラックをくり返し再生
- **DISC** : 再生中のディスク内の全トラックをくり返し再生
- **OFF** : マガジン内の全ディスクをくり返し再生

* 「REPEAT PLAY FOLDER」は、MP3ディスクを再生中のみ選べます。

●ランダム再生

1 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切り換える



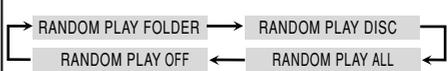
2 **RND** をくり返し押して、ランダム再生のモードを選ぶ

押すごとに、次のようにランダム再生のモードが切りかわります。

●CDのとき



●MP3ディスクのとき



- **FOLDER*** : 再生中のフォルダ内の全トラックをランダムに再生全トラックを再生後、次のフォルダに移動します。
- **DISC** : 再生中のディスク内の全トラックをランダムに再生
- **ALL** : マガジン内の全トラックをランダムに再生
- **OFF** : ランダム再生を解除

* 「RANDOM PLAY FOLDER」は、MP3ディスクを再生中のみ選べます。

- ランダム再生を解除すると、再生モードは自動的に全トラックのくり返し再生になります。



CDチェンジャー(別売)のCDを聞く(つづき)

●イントロスキャン

1 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切替える



2 **INT** をくり返し押して、イントロスキャンのモードを選ぶ

押すごとに、次のようにイントロスキャンのモードが切りかわります。

●CDのとき



●MP3ディスクのとき



- **TRACK** : 再生中のディスクの各トラックの頭を15秒ずつ再生
- **FOLDER*** : 再生中のディスクの各フォルダの最初のトラックの頭を15秒ずつ再生
- **DISC** : マガジン内の全ディスクの頭を15秒ずつ再生
- **OFF** : イントロスキャンを解除

* 「INTRO PLAY FOLDER」は、MP3ディスクの再生中のみ選べます。

● イントロスキャンを解除すると、再生モードは全トラックのくり返し再生になります。

ダイレクトに選曲する

トラック、フォルダ(MP3ディスクのみ)を素早くダイレクトに選べます。

1 **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切替える



2 サーチの操作アイコンを押す

●CDのとき

TRACK SEARCH : トラックを選びます。

●MP3ディスクのとき

FOLDER SEARCH : フォルダを選びます。

TRACK SEARCH : トラックを選びます。

●例: MP3ディスクを再生中



3 番号を入力し、**ENTER** を押す

選んだ番号から再生が始まります。

● **CLEAR** を押すと、入力した数字を消去できます。

● **FOLDER SEARCH**で、MP3ファイルの入っていないフォルダを選ぶと、「NO FILES」と表示されます。この場合、別のフォルダまたはトラックを選択し直してください。

他の機器の映像を見る

本機に接続したTVチューナー(KV-C1000:別売)などの映像を見ることができます。

外部機器を選ぶ

1 SOURCE を押す

ソース(音源)選択画面が表示されます。



2 外部接続機器を選ぶ

 : ハイダウェイユニットのAV INPUT 1端子に接続した機器を選びます。

 : ハイダウェイユニットのAV INPUT 2端子に接続した機器を選びます。

 : TVチューナー(KV-C1000:別売)を選びます。

3 音量を調節する

● リモコンで操作する場合

AV をくり返し押します。
押すごとに「AV1」「AV2」「TV」が切り換わります。

● 本体で操作する場合

SOURCE
S をくり返し押します。
押すごとに「AV1」「AV2」「TV」が切り換わります。

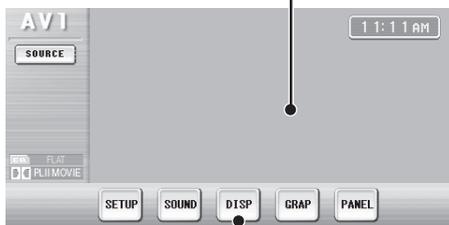
<お知らせ>

- 映像ソースを再生中は、画面サイズを変更することができます(⇒ 34ページ)。ただし、リアビューカメラを接続している場合は画面サイズの変更はできません。
- ハイダウェイユニットのAV INPUT2端子にリアビューカメラを接続しているときは、「AV2入力選択」を正しく設定してください(⇒ 57ページ)。
- TVチューナーなどの接続については、別冊の取付説明書をご覧ください。



を選んだ場合:

再生中の映像が表示されます。

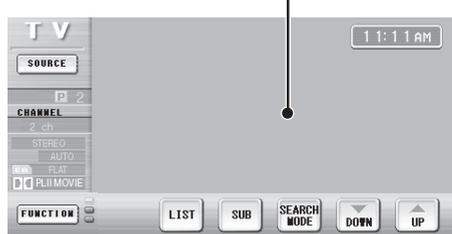


映像の再生中には選択できません。



を選んだ場合:

受信中の映像が表示されます。

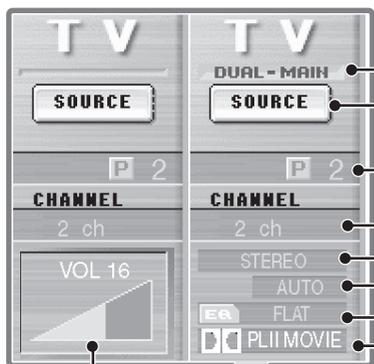


<お知らせ>

- TVチューナー(KV-C1000:別売)の使いかたについては「TVチューナー(別売)を使う」をご覧ください(⇒ 72ページ)。

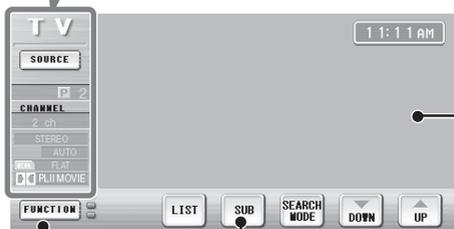
TVチューナー(別売)を使う

TVチューナーの操作画面の見方



- デュアルモード表示(→ 44ページ)
- ソース(音源)選択アイコン
- 現在のプリセット番号(→ 74ページ)
- チャンネル番号
- 受信モード(→ 73ページ)
- 選局方法(→ 73ページ)
- サウンドモード(→ 48ページ)
- サラウンド/DSPモード(→ 46ページ)

音量を調節中に表示されます。



受信中の映像が表示されます。

FUNCTION を押しごとに、操作アイコンが切り替わります。



- 58ページ
- 61ページ
- 61ページ
- 60ページ
- 45~49ページ
- 51ページ

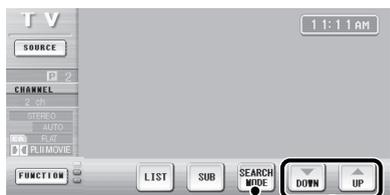


(元に戻る)

*1 音声多重放送のときのみ選択できます。

*2 「M」を押したあとにだけ選択できます。

放送局を選ぶ



1 SOURCE を押す

ソース(音源)選択画面が表示されます。



2 TV を押す

ソース(音源)が「TV」に切り替わります。

3 SEARCH MODE をくり返し押しして選局方法を選ぶ

押すごとに、選局方法が切り替わります。



- AUTO : オート選局(シーク)
- MANUAL : マニュアル選局
- PRESET : プリセット選局

4 UP または DOWN を押しして選局する

UP : 周波数(プリセット番号)が上がります。

DOWN : 周波数(プリセット番号)が下がります。

- AUTO : オート選局(シーク)
本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- MANUAL : マニュアル選局
押すごとに周波数が変わり、押し続けると連続して変わります。
- PRESET : プリセット選局
あらかじめ記憶させておいた放送局(→ 74ページ)から選局できます。

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。そのときは、もう一度

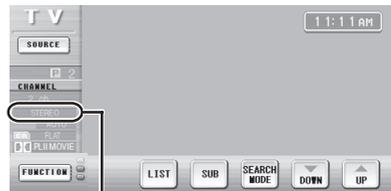
UP または DOWN を押してください。

音声を切替える

主音声と副音声を持つ番組を受信している場合に、音声を切替えることができます。

1 SUB を押す

押すごとに、受信モードが切り替わります。



受信モード

- MAIN : 主音声
- SUB : 副音声
- MAIN+SUB : 主音声+副音声

・通常のステレオ放送の番組を受信中は「STEREO」と表示されます。

TVチューナー(別売)を使う(つづき)

放送局を自動で記憶(メモリー)させる

電波の強い放送局を自動選局し、プリセット番号1~12に記憶させることができます。

- ・自動選局機能を使うと、すでに記憶してあった放送局は取り消されます。

1 放送受信中に **FUNCTION** をくり返し押し操作アイコンを切換える



2 **M** を押したあと、**AUTO** を押す

自動選局が始まり、周波数の低い順に最大12までの放送局を記憶していきます。

- ・メモリーし終わるとプリセット番号1に記憶された放送局が表示されます。

放送局を選んで記憶(メモリー)させる

自動で放送局を記憶するほかに、放送局を選んでから1局ずつ手動で記憶させることができます。

- ・この操作は、自動選局機能で放送局を記憶させたあとにしてください。あとから自動選局機能を利用すると、記憶させた内容が取り消されることがあります。

例：プリセット番号1(P1)に記憶する

1 記憶させたい放送局を受信する

「放送局を選ぶ」(→73ページ)をご覧ください。

2 **FUNCTION** をくり返し押し操作アイコンを切換える



3 **M** を押したあと、**P1** を押す

「PRESET01」と放送局が表示され、放送局が記憶されます。

<お知らせ>

- ・放送局が12局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。
- ・受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- ・受信するときは、プリセット選局が利用できるようになります(→75ページ)。

<お知らせ>

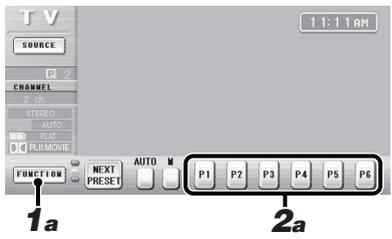
- ・プリセット番号7~12に記憶させたいときは、手順3で **NEXT PRESET** を押して7~12を表示させます。

ご注意

- ・バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取消されます。また、時計表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

放送局を呼び出す(プリセット選局)

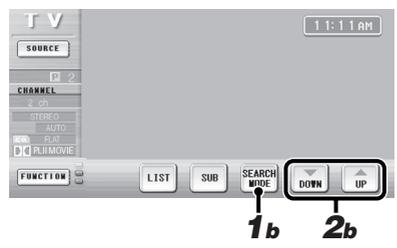
プリセット番号1~12に記憶されている放送局をワンタッチで選局することができます。



1a **FUNCTION** をくり返し押して操作アイコンを切替える

2a **P1** ~ **P12** を押して選局する

NEXT PRESET を押すと、プリセット番号7~12が表示されます。



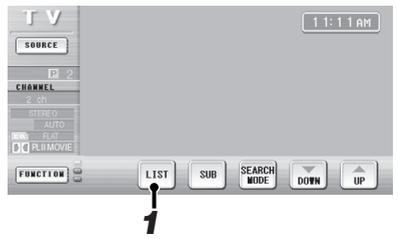
1b **SEARCH MODE** をくり返し押して「PRESET」を選ぶ

2b **UP** または **DOWN** を押して選局する

- : プリセット番号が大きくなります。
- : プリセット番号が小さくなります。

放送局リストから選局する

プリセットした放送局を一覧表示してから選局することができます。



1 **LIST** を押す

放送局リストが表示されます。

プリセット番号/チャンネル番号/放送局名



元の画面に戻すときに押します

- ・放送局名を登録している場合(→ 58 ページ)は、チャンネル番号の横に放送局名が表示されます。

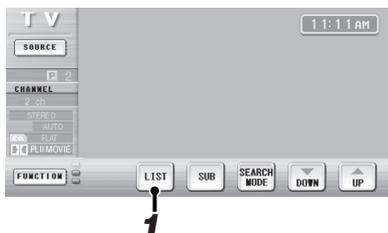
を押すと次のページを表示します。

2 リスト上のプリセット番号を押して放送局を選ぶ

TVチューナー(別売)を使う(つづき)

放送局リストに記憶(メモリー)させる

受信中の放送局を放送局リストに記憶させることができます。



1 記憶させたい放送局を受信する

「放送局を選ぶ」(→ 73ページ)をご覧ください。

2 LIST を押す

放送局リストが表示されます。

プリセット番号/チャンネル番号/放送局名



元の画面に戻すときに押します

- ・ 放送局名を登録している場合(→ 58ページ)は、チャンネル番号の横に放送局名が表示されます。

▲/▼ を押すと次のページを表示します。

3 M を押したあと、記憶させたいプリセット番号を押す

選んだプリセット番号に受信中の放送局が記憶されます。

ナビモニターを操作する

ナビモニターについて

音声は選んだソース(音源)のままで、画面にはカーナビゲーションシステムの映像が表示できます。

- AV INPUT2端子に市販のカーナビゲーションシステムを接続したあと、「AV2入力選択」で「ナビ」を選択しておきます(→ 57ページ)。
- 市販のカーナビゲーションシステムへの接続については、別冊の「取付説明書」をご覧ください。

ソース(音源)を選択する

1 SOURCE を押す

ソース(音源)選択画面が表示されます。



2 NAVI MONITOR を押す

ナビ表示モードが「入」になり、NAVI MONITOR がハイライト表示されます。

3 ソース(音源)を選択する



選択したソース(音源)に切り替わります。音声は選択したソース(音源)のままで、画面にはカーナビゲーションシステムの映像が表示されます。

• ナビ表示モードを「切」にする

左の手順2でもう一度 NAVI MONITOR を押しませ

す。

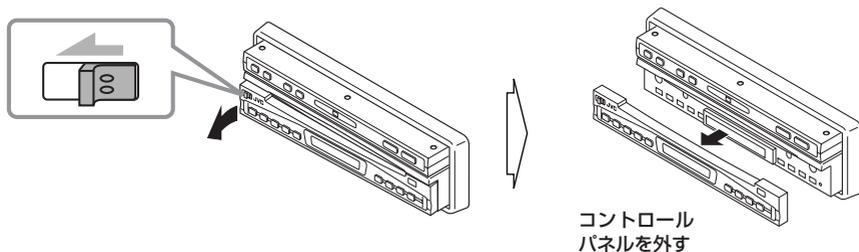
押すごとに「入/切」が切り替わります。

コントロールパネルの着脱

コントロールパネルを外す

1  を2秒以上押して電源を「切」にする

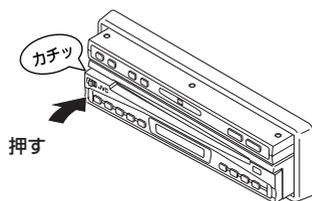
2  (コントロールパネル取り外しスイッチ)を左にずらす



コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルの右側を本体に合わせて入れる

2 コントロールパネルの左側を「カチッ」と音がするまで押す



故障かな？と思う前に

—おや？故障かな？と思ったら…

修理を依頼される前にもう一度お確かめください—

コントロールパネルの着脱・故障かな？と思う前に

症状

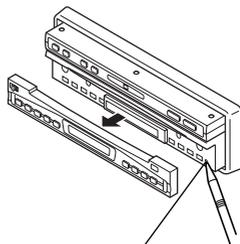
原因・処置

どのボタンを操作しても正しく動作しない。

- 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。
→ リセットボタンを押す。
(時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります。)

リセットのしかた

- 1** コントロールパネルを外す
(⇒78ページ参照)
- 2** リセットボタンをボールペンの先などで軽く押す



リセットボタン

- 3** コントロールパネルを取り付ける
(⇒78ページ参照)

電源を切っても「ATT」表示が点滅する。

-  ボタンを2秒以上押す。

電源が入らない。

- 電源(ACC・ライン)のコードが接続されていないため。
- 車のエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」のため。

ディスクの取り出しができない。
ディスクを認識しない。

- 盗難防止状態になっている(⇒34ページ)。
→  を押したまま  ボタンを同時に2秒以上押す。
-  を押したまま  ボタンを同時に2秒以上押す(強制Eject)。

故障かな？と思う前に(つづき)

症 状	原 因 ・ 処 置
映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● モニターの画像を変更している。 ➔ GRAPアイコンを押して画面を切替える(➔ 61ページ)。
映像の左右が途切れている。	<ul style="list-style-type: none">● モニタータイプで「4:3 パンスキャン」が選択されている。 ➔ モニタータイプの設定画面で「4:3 レターボックス」を選択する(➔ 52ページ)。
言語メニューで設定したものと異なる音声言語で再生される。	<ul style="list-style-type: none">● 設定した音声言語がディスクに収録されていない。● ディスクによっては、再生開始時の音声あらかじめ決められているものがあります。 ➔ 再生後に  を押して音声を切替える(➔ 35ページ)。
言語メニューで設定したものと異なる字幕言語で再生される。	<ul style="list-style-type: none">● 設定した字幕言語がディスクに収録されていない。● ディスクによっては、再生開始時の字幕言語あらかじめ決められているものがあります。 ➔ 再生後に  を押して字幕言語を切替える(➔ 35ページ)。
CDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● 音量を適度に調節する。● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 ➔ ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。● CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクを使用している。 ➔ ディスクのマークを確認する(➔ 25ページ)。
CD-R/CD-RWディスクの再生、スキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none">● ファイナライズ処理がされていないため。 ➔ ファイナライズ処理したディスクと交換する。または録音した機器でファイナライズ処理をする。
「ピッピッピ」音のあと、ディスクが出てくる。	<ul style="list-style-type: none">● ディスクが裏返しに入っている。 ➔ 文字のある面を上にしてディスクを入れ直す。● 再生できない種類のディスクを使用している。

症 状	原 因 ・ 処 置
<p>放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナプースター電源端子)に本機のアンテナコントロール電源コード(青)を正しく接続する。 ● 車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている。 → 本機のアンテナコントロール電源コード(青)をこの端子に接続する。 ● 放送局の周波数に正しく合わせる。 ● 携帯電話などを本機から離す。
<p>ディスクの出し入れのとき音が途切れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● これらの動作のときは、一時的に消音させて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。
<p>MP3ディスク再生中に、フォルダ名やファイル名が「_」表示になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● フォルダ名やファイル名が半角の英数字以外で入力されている(⇒ 28ページ)。
<p>MP3ディスクで、意図した順番に曲が再生されない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● MP3ファイルの再生順序は、CD-R/RW書込み時にライティングソフトがフォルダ順序、ファイル順序を並びかえる可能性があるため、任意の再生順序と異なる場合があります。
<p>MP3ディスクで、実際の経過時間と時間表示が異なる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● VBR(可変ビットレート)で記録されたファイルの時間表示には誤差があり、実際の経過時間とは異なります。特に早送り/早戻しをすると、経過時間が大きくずれることがあります。
<p>CDの1曲目が「00' 00"」表示のままで再生しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Mixed-CDで記録されている。 → 数字ボタンなどを押して2曲目以降にスキップする。
<p>TV以外のソース(音源)に切換えたとき、接続しているTVチューナーの電源が切れない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● TVチューナーユニット(別売)を市販のモニターシステムに接続している。 → 市販のモニターシステムは、ハイダウェイユニットに接続する(⇒ 取付説明書の「接続のしかた」参照)。

<お知らせ>

- 本機の故障や不具合により、利用の機会を逸したために発生した損害等の保証については、ご容赦ください。

故障かな？と思う前に(つづき)

こんな表示が出たときは

表示

原因・処置

●モニター

NO NAME

- ディスク名や曲名が記録されていないため。
➔ ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。
- 放送局名が記録されていないため。
➔ 放送局名を入力する。

「走行中は映像を見ることができません。音声をお楽しみください。」が表示される。(DVDビデオ、ビデオCD、TV、AV1、AV2(カメラを除く)のとき)

- 交通安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみとなります。
また、停車中でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。

REGION CODE ERROR!

- DVDソフトのリージョン番号が「2」でない。
➔ ディスクを入れ換える。

TVがつながれていません。

- TVチューナーとの通信エラーが発生したため。
➔ TVチューナーとの接続コードを確認する。

CDチェンジャーがつながれていません。

- CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。
➔ CDチェンジャーとの接続コードを確認する。

NO DISC

- CDが入っていないトレイを選んだ場合で、ディスクなしが検出されたとき。
➔ CDを入れる。

NO FILES

- ディスクに再生できるファイル(MP3ファイル)が記録されていない。
➔ ディスクを入れ換える、またはフォルダを変える。

NO MAGAZINE

- CDチェンジャーにマガジンが入っていない。
➔ マガジンを入れる。

●本体表示窓

RESET 8

- TVチューナーとの通信エラーが発生したため。
➔ TVチューナーとの接続コードを確認し、リセットボタンを押す。
- CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。
➔ CDチェンジャーとの接続コードを確認する。

RESET 数字 ○

- CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。
➔ CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

知っていると便利なこと

言語コード一覧表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アフアル語	IK	イヌピック語	RN	キルンディ語
AB	アブバシア語	IN	インドネシア語	RO	ルーマニア語
AF	アフリカーンス語	IS	アイスランド語	RU	ロシア語
AM	アムハラ語	IW	ヘブライ語	RW	キニヤルワンダ語
AR	アラビア語	JI	イディッシュ語	SA	サンスクリット語
AS	アッサム語	JW	ジャワ語	SD	シンド語
AY	アイマラ語	KA	グルジア語	SG	サンド語
AZ	アゼルバイジャン語	KK	カザフ語	SH	セルボアクロアチア語
BA	バシキール語	KL	グリーンランド語	SI	シンハラ語
BE	ベラルーシ語	KM	カンボジア語	SK	スロバキア語
BG	ブルガリア語	KN	カンナダ語	SL	スロベニア語
BH	ビハーリー語	KO	韓国(朝鮮)語	SM	サモア語
BI	ビスラマ語	KS	カシミール語	SN	ショナ語
BN	ベンガル語、バングラ語	KU	クルド語	SO	ソマリ語
BO	チベット語	KY	キルギス語	SQ	アルバニア語
BR	ブルトン語	LA	ラテン語	SR	セルビア語
CA	カタロニア語	LN	リンガラ語	SS	シスワティ語
CO	コルシカ語	LO	ラオス語	ST	セストゥ語
CS	チェコ語	LT	リトアニア語	SU	スندا語
CY	ウェールズ語	LV	ラトビア語、レット語	SV	スウェーデン語
DA	デンマーク語	MG	マダガスカル語	SW	スワヒリ語
DZ	ブータン語	MI	マオリ語	TA	タミール語
EL	ギリシャ語	MK	マケドニア語	TE	テルグ語
EO	エスペラント語	ML	マラヤーラム語	TG	タジク語
ET	エストニア語	MN	モンゴル語	TH	タイ語
EU	バスク語	MO	モルダビア語	TI	ティグリニャ語
FA	ペルシャ語	MR	マラータ語	TK	トゥルクメン語
FI	フィンランド語	MS	マライ(マレー)語	TL	タガログ語
FJ	フィジー語	MT	マルタ語	TN	セツワナ語
FO	フェロー語	MY	ミャンマー語	TO	トンガ語
FY	フリジア語	NA	ナウル語	TR	トルコ語
GA	アイルランド語	NE	ネパール語	TS	ツォンガ語
GD	スコットランドゲール語	NL	オランダ語	TT	タートル語
GL	ガルシア語	NO	ノルウェー語	TW	トウイ語
GN	グアラニ語	OC	プロバンス語	UK	ウクライナ語
GU	グジャラード語	OM	(アフォン)オロモ語	UR	ウルドゥー語
HA	ハウサ語	OR	オリヤー語	UZ	ウズベク語
HI	ヒンディー語	PA	パンジャブ語	VI	ベトナム語
HR	クロアチア語	PL	ポーランド語	VO	ウラピュク語
HU	ハンガリー語	PS	パシュトー語	WO	ウォロフ語
HY	アルメニア語	PT	ポルトガル語	XH	コーサ語
IA	国際語	QU	ケチュア語	YO	ヨルバ語
IE	国際語	RM	ラエティ-ロマン語	ZU	ズール語

故障かな？と思う前に(じ)び(き)・知っているると便利なこと

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げ販売店**または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

79～82ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

DVD/CDプレーヤー部

- 再生可能ディスク：DVDビデオ、ビデオCD、オーディオCD、DVD-R/RW (DVDビデオフォーマット) CD-R/RW (ビデオCD、オーディオCD、MP3フォーマット)
- 映像信号方式：JEITA標準、NTSCカラービジョン方式
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：DVD (サンプリング周波数96kHz) 16Hz ~ 44kHz (サンプリング周波数48kHz) 16Hz ~ 22kHz CD (サンプリング周波数44.1kHz) 16Hz ~ 20kHz
- ダイナミックレンジ：93dB
- S N 比：95dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1 (JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz ~ 90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf (1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz ~ 1,629kHz
- 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W (4 Ω , 1kHz) センター 35W (4 Ω , 1kHz) リア 50W+50W (4 Ω , 1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ~8 Ω で使用可能)

7型ワイドモニター部

- 画面サイズ：7型ワイド液晶ディスプレイ
- 画素数：336,960画素
- 駆動方式：TFT (薄膜トランジスター) アクティブマトリックス方式
- 外形寸法：幅170mm×高さ141mm×奥行15mm
- 質量：475g

ハイダウェイユニット

- 入力端子：AV INPUT (2系統) オーディオ：0.5Vrms ビデオ：1Vp-p/75 Ω DINジャック×1
- 出力端子：AV OUTPUT (1系統)、オーディオ：2V/1k Ω 、CDフルスケール ビデオ：1Vp-p/75 Ω PRE OUT (×1) FRONT L/R：2V/1k Ω 、CDフルスケール REAR L/R：2V/1k Ω 、CDフルスケール CENTER：2V/1k Ω 、CDフルスケール SUBWOOFER：2V/1k Ω 、CDフルスケール
- 外形寸法：幅230mm×高さ35mm×奥行181mm
- 質量：1.3kg

クレードル: KV-CR100

- 出力端子：ヘッドホンジャック×2 6mW/ch (10% THD/ 20Hz~20kHz/16 Ω) 適合インピーダンス 16 Ω ~32 Ω
- 外形寸法：幅180mm×高さ75mm×奥行52.6mm

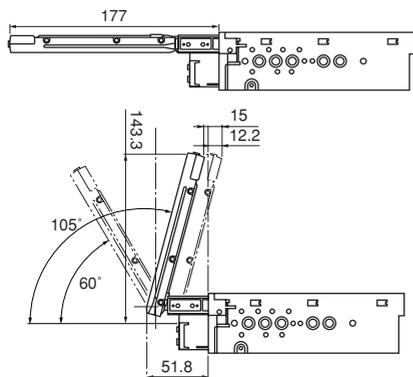


主な仕様 (つづき)

電源部・その他

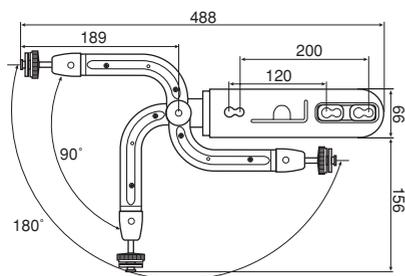
- 電源電圧：DC14.4V(11V~16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm
×奥行160mm
サイドスプリングB使用時：幅182mm×高さ52mm
×奥行165mm
サイドスプリングA使用時：幅182mm×高さ52mm
×奥行160mm
- 外形寸法
モニター収納時：幅178mm×高さ50mm
×奥行190mm
- 質量：約2.25kg(モニター含む)

モニター使用時の寸法と可動範囲



単位：mm

クレードルのホルダーの寸法と可動範囲



単位：mm

付属品

- ・リモコン：RM-RK220 1
- ・電池(CR2025) 1
- ・ハイダウェイユニット 1
- ・クレードル：KV-CR100 1
- ・ホルダー 1
- ・ハイダウェイ用接続コード(16ピンコネクター) ... 1
- ・本体用接続コード(6ピンコネクター) ... 1
- ・センタースピーカー/バックカメラコード ... 1
- ・アンテナ延長コード* 1
- ・ハイダウェイバスコード* 1
- ・クレードルバスコード* 1
- ・ネジ(M5×20mm) 1
- ・ネジ(M5×8mm) 4
- ・ネジ(M5×6mm) 2
- ・ネジ(M4×8mm) 4
- ・ネジ(M4×3mm) 4
- ・皿ネジ(M5×8mm) 4
- ・コードコネクター 2
- ・ブラインドカバー 1
- ・プラグナット 1
- ・スリーブ 1
- ・化粧プレート 1
- ・ハンドル 2
- ・サイドスプリングA 2
- ・サイドスプリングB 2
- ・ハイダウェイ取り付け用金具 2

別売りのオプション品

- ・TVチューナーユニット：KV-C1000
- ・7型ワイドモニターユニット
：KV-MAV7001
- ・センタースピーカー：CS-CN100
- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ 1m)
CN-520E(長さ 2m)
- ・ビデオコード：VX-105E(長さ0.5m)
VX-110E(長さ 1m)
VX-120E(長さ 2m)

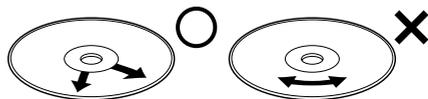
■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店で求めください。
品番は変更されることがあります。

お手入れ

ディスクのお手入れ

ディスクを挿入する前に、演奏面についているほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふき取ってください。

必ず内側から外側にふいてください。



- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因になります。

本体の清掃

・パネル面の清掃

本体表示窓やタッチパネルが汚れたら、必ず電源を「切」にしてから柔らかい布などでからぶきしてください。

タッチパネルをふくときは、爪でタッチパネルに傷をつけないように注意してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品や洗剤でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital Surroundは、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり、放送、上映、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは、DVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 JVCカーオーディオお客様ご相談センター
別紙の 「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」 をご覧ください。	F 0120-9 77-846 (フリーコール) FAX(027) 254-8927 受付時間 10:00~18:00 (土、日、祝日、当社休日を除く) 〒371-8543 群馬県前橋市大渡町1-10-1

ビクターインターネットホームページアドレス
カーAV機器ホームページアドレス

<http://www.victor.co.jp/>
<http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12